

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



全日本トライアル選手権、エリート20 優勝の寺井



2017年UCIトラック世界選手権大会	2
平成29年度事業計画	6
競技大会結果	10
日本新記録	13
NEWS	13
連盟の動き	13
今後の大会予定	13
第40回全国高等学校選抜自転車競技大会	14
第1回ツール・ド・とちぎ	16
第6回全日本トライアル選手権大会	18
各大会日本代表選手団	20
第11回明治神宮外苑大学クリテリウム	21
第42回 チャレンジサイクルロードレース大会	22
UCI世界選 photo	24



この広報誌は、  
競輪の補助により  
作成しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>





女子チームパーシュートのスタート

## 2017年 UCIトラック 世界選手権大会

本年の世界選手権トラックレースは、ホンコンチャイナの香港ベロドロームで4月12日から15日まで開催され、日本からも多くの観客が来訪された。

### 4月12日 午後の部

女子チームパーシュート予選、上野・橋本・中村・鈴木の日本チームが日本新記録の4分34秒362を出す、11位で1回戦進出は果たせなかった。

### 4月12日 夜の部

男子チームスプリント予選で渡邊・新田・長迫の日本チームは44秒363の8位で1回戦へ進出。1回戦は予選を上回る44秒158だったが、ニュージーランドに負け7位決定。また女子スクラッチの上野は21位でフィニッシュ。

### 4月13日 午後の部

男子ケイリン1回戦に河端、脇本、新田が出場。河端5位、脇本3位、新田7位でそれぞれ敗者復活戦へ廻るが、河端2位、脇本5位、新田5位で、何れも敗者復活戦敗退となった。

### 4月14日 午後の部

男子スプリント予選に河端が出場、10秒158の31位で予選敗退。

女子オムニアムの梶原はスクラッチ17位、テンポ7位で合計38点、2種目終了時で暫定12位。

男子個人パーシュートの今村は4分

35秒093で25位。

### 4月14日 夜の部

男子ポイントレースに倉林が出場したが、途中リタイアとなった。

女子オムニアムの梶原は67点で最終11位決定。

### 4月15日 午後の部

男子オムニアム今村、スクラッチ13位、テンポ21位。

女子個人パーシュート予選、梶原は3分47秒356の21位で予選敗退。

### 4月15日 夜の部

オムニアムの今村は合計21点で最終19位が確定した。

### 4月16日 午後の部

女子ポイントレースに上野が出場するが22位となり、日本チームの世界選は終了した。

### 個人種目最上位の梶原のコメント

オムニアムでは、失敗した種目とうまくいった種目が半々だった。特にエリミネーションは自分としては不得意なイメージはなかったが、踏み遅れてしまった。位置取りなどを肌で感じられるようにしなければいけないと思う。逆に下位にいたことで、最終のポイントレースでは積極的に動くことができ、ラップすることができて良かった。自分としては総合順位の5~8位以上を狙っていたので、11位の成績には満足していない。今後メダル争いに加わられるようにしていきたい。

### 2017 UCIトラック世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2017 UCIトラック世界選手権大会  
大会日程 2017年4月12日~4月16日  
派遣日程 2017年4月7日~4月17日  
開催場所 ホンコンチャイナ・香港ベロドローム  
代表選手団

コーチ ブノア・ヴェトゥ  
(短距離ヘッドコーチ)  
ジェyson・ニブレット(短距離コーチ)  
飯島 誠(中距離ヘッドコーチ)  
メカニック 森 昭雄(強化支援スタッフ)  
斉藤 健吾(強化支援スタッフ)  
マッサー 中山 真臣(強化支援スタッフ)  
石田 将之(強化支援スタッフ)  
ドクター 内田 彰子(医学部会員)  
スタッフ 田畑 昭秀(科学スタッフ)  
総務 貝塚 直子(JCF事務局)  
選手 渡邊 一成(JPCA・JPCU 福島)  
新田 祐大(JPCA・JPCU 福島)  
河端 朋之(JPCA・JPCU 岡山)  
脇本 雄太(JPCA・JPCU 福井)  
長迫 吉拓(岡山)  
倉林 巧和  
(群馬・日本体育大学大学院)  
今村 駿介(福岡・中央大学)  
上野みなみ  
(鹿児島・CIEL BLEU KANOYA)  
中村 妃智  
(千葉・日本体育大学/日本写真判定)  
鈴木 奈央(JPCA・JPCU 静岡)  
梶原 悠未(埼玉・筑波大学)  
橋本 優弥(岐阜・鹿屋体育大学)





男子スプリント予選の河端



男子ケイリンの新田



男子ポイントレースの倉林



男子ケイリンの脇本



女子スクラッチ 21 位の上野



男子ケイリンの河端



男子個人パーシュート 25 位の今村



開会式で地元の少年とトラックを 1 周する中村





男子オムニアム 19 位の今村



男子チームスプリント 7 位の日本



女子チームパーシュート 11 位の日本



女子オムニアムの梶原

**【競技結果】**

2017 年 UCI トラック世界選手権大会  
(2017/4/12-16 ホンコンチャイ・香港ハートランド)

**男子スプリント**

- 1 DMITRIEV Denis RUS
- 2 LAVREYSEN Harrie NED
- 3 MITCHELL Ethan NZL
- 31 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山

**男子ケリソ**

- 1 AWANG Mohd Azizulhasni MAS
- 2 PUERTA ZAPATA Fabian Hernando COL
- 3 BABEK Tomas CZE
- 13 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 25 新田 祐大 JPCA JPCU 福島
- 25 脇本 雄太 JPCA JPCU 福井

**男子個人ハーフシュート**

- 1 KERBY Jordan AUS 4:17.068
- 2 GANNA Filippo ITA 4:21.299
- 3 O'BRIEN Kelland AUS 4:16.909
- 25 今村 駿介 福岡 中央大学 4:35.093

**男子ポイントレース (30km)**

- 1 MEYER Cameron AUS 76p
- 2 DE KETELE Kenny BEL 40p
- 3 PSZCZOLARSKI Wojciech POL 40p
- 倉林 巧和 群馬 日体大大学院 DNF

**男子オムニアム**

- 1 THOMAS Benjamin FRA 149p
- 2 GATE Aaron NZL 147p
- 3 TORRES BARCELO Albert ESP 138p
- 19 今村 駿介 福岡 中央大学 21p

**男子チームスプリント**

- 1 ニュージーランド 44.049
- 2 オランダ 44.382
- 3 フランス 43.536
- 7 日本 渡邊・新田・長迫 44.158

**女子個人ハーフシュート**

- 1 DYGERT Chloe USA 3:24.641
- 2 ANKUDINOFF Ashlee AUS 3:31.784
- 3 CATLIN Kelly USA 3:30.365
- 21 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 3:47.356

**女子スクラッチ**

- 1 BARBIERI Rachele ITA
- 2 BARKER Elinor GBR
- 3 D'HOORE Jolien BEL
- 21 上野みなみ 鹿児島 CIEL BLEU K -1lap

**女子ポイントレース (25km)**

- 1 BARKER Elinor GBR 59p
- 2 HAMMER Sarah USA 51p
- 3 WILD Kirsten NED 35p
- 22 上野みなみ 鹿児島 CIEL BLEU K -17p

**女子オムニアム**

- 1 ARCHIBALD Katie GBR 123p
- 2 WILD Kirsten NED 115p
- 3 CURE Amy AUS 115p
- 11 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 67p

**女子チームハーフシュート**

- 1 アメリカ 4:19.413
- 2 オーストラリア 4:19.830
- 3 ニュージーランド 4:21.778
- 11 日本 上野・橋本・中村・鈴木 4:34.362

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>

対象となる事故

団体活動中の事故/  
往復中の事故

4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。



保険期間

平成29年4月1日午前0時から  
平成30年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	葬祭費用 180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円		
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C (64歳以下)	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️ 自動車事故によ って賠償責任を 負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B (65歳以上)	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団員への送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

## 公益財団法人 スポーツ安全協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル8階

TEL 03-5510-0022



保険の詳細内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室  
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜  
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

# 平成29年度 事業計画

公益財団法人 日本自転車競技連盟

本連盟は、我が国における自転車競技界を統轄し、代表する団体として自転車競技の普及振興に向け、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的に各種事業を実施してきており、本連盟がその目的を達成するために、本連盟加盟団体をはじめとした関係機関・団体とのより一層の連携強化を図り、自転車競技を通じた社会貢献への実現に努力する。

また、昨年度のブラジル・リオデジャネイロ開催のオリンピック・パラリンピックにおいては、パラリンピックで2個の銀メダルを獲得するに留まる結果であったことから、競技力の向上に重点を置くとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、競技者層の拡充、特に女子競技者層並びにジュニア競技者層の拡充に努め、これに加えて、オリンピックロード種目、BMX種目の東京開催、トラック種目、マウンテンバイク種目の静岡・伊豆開催を視野に、パラリンピックも含め競技大会の実施体制の強化と観客数の増加も図る。

併せて、本連盟の社会的存在意義を自覚し、自転車の安全マナーの啓発活動の実施や、アンチ・ドーピング活動の教育啓発にも積極的に協力していくこととし、指導現場における暴力行為やハラスメントについては自らを厳しく律していく努力を続けていくこととする。

## I 事業計画概要

### 【総務委員会】

本年度、本連盟は公益財団法人に移行して5年目を迎えたが、公益法人認定法において公益目的事業として掲げられている“スポーツを通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を醸成する”ことを再認識し、改めて初心に立ち返って、国内における自転車競技大会の開催に関する事業や、国際的な自転車競技大会への選手の派遣及び強化に関する事業等により、国民に対してスポーツとしての自転車競技に関心を持ってもらえるよう努めるものとする。

また、公益財団法人として、引き続きコンプライアンスを重視し、ガバナンスの確保に努め、より一層の透明性の高い業務運営を行っていくこととする。

本連盟の財政状況については、支出面では、諸経費について2020年東京オリンピックに向けての選手強化費等が増えるため、収入面でも、競技者登録料等の会費収入やヘルメット公認料等の事業収入を増やすとともに、さらに本連盟の事業活動資金の援助となる協賛金、寄附金を集めて自主財源を増額することで、収支の均衡を保つことを目標とする。

### 【広報委員会】

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まで3年となり、また近年のエコ、健康意識の高まりや、人気漫画やアニメの影響もあり、国内での自転車競技への関心が益々高まるこの時期に、競技者人口の拡大、普及発展のため加盟団体や各種専門委員会等また関係諸団体とも協力しながら情報を共有し発信していく。

具体的には、ホームページを見やすくリニューアルし、大会情報や結果速報などをタイムリーに発信し、広報誌スクリスムエコーとともに情報発信に努める。また、全日本選手権大会等のレース映像撮影を行い、JCFチャンネルにて動画を公開し全日本選手権の価値を高め、自転車競技の魅力を広く一般に周知するとともに、日本代表選手の活躍をファン層に向けても広く情報発信に努めるものとする。また合わせて、選手の活躍を一般紙のスポーツ欄に掲載されるような方策を検討し、メディアへの露出に繋げる。

### 【競技運営委員会】

#### 1 競技・トレーニング環境整備への取り組み

2016年にはブラジル・リオデジャネイロにおいてオリンピック・パラリンピックが開催された。2016年1月には日本でトラック・ロード・パラサイクリングのアジア選手権を開催し、競技力の向上と参加資格ポイントの獲得を図ったが、結果としてはパラリンピックで2つの銀メダルを獲得したものの、オリンピックでは上位入賞も果たすことができず、厳しい結果に終わった。他方、アジアの諸外国は初のメダルを獲得するなど、近隣諸国のレベル向上は著しく、相対的に競合環境は厳しいものと受け止める必要がある。

競技成績の相対的低迷には、他国が競技環境・トレーニング環境を着々と整備していく中、日本のそれが追い付いていない、という現状認識が必要である。香港・インドなどジュニア層・若手選手が日常的に、すなわち平日に学校・職場からトレーニングに通える環境を整備した国・地域が成長してきている世界的趨勢がある。これに日本が対応していくには、どのような競技場・トレーニング拠点体制とするかを熟考していく必要がある。

トラック競技に関しては、修善寺に加えて東京・大阪圏等の大都市圏に競技・トレーニング拠点を整備し、本格的なトレーニング拠点を3箇所以上体制とするとともに、全国的に展開済みである屋外競技場を、全国の地域毎（北海道、東北、関東、中部（東海・北陸）、近畿、中国・四国・九州・沖縄）に国際的なレースに向けたトレーニングに適した周長（250m）の競技場がすくなくとも一つ

ずつはある状況に向けて順次改築していくことが必要である。東日本大震災で被災した山形県新庄自転車競技場の改修にあたっては、この流れに沿って東北地域におけるひとつめの250mトラックとして再整備されることが望ましい。29年度はこの東北・山形における整備に傾注し、30年度以降も関西地区、首都圏等地域的バランスをとりながら順次取り組んで行く。

ロード競技、シクロクロスにおいては、自転車レースが都市部で日常的に開催されるスポーツイベントとして日本の社会に受け入れられるよう、引き続き尽力していく必要がある。またビギナーが競技に関心をもったときにアプローチ容易な拠点の確保も必要である。

2017年から始まるアーバン・チャンピオンシップスは、従来アウトドア型スポーツの象徴と思われてきたマウンテンバイク、BMX、トライアルが都市型スポーツへ方向性を転換していることが示唆されている。観客視点にたった競技の再構築が盛んになってきており、このような情勢分析とともに、日本におけるトレーニング型競技場施設のありかたに関する戦略立案を進める。

パラサイクリング、室内競技についても、よりプレゼンスの高い競技大会開催を通じて、トレーニング環境の確保を目指していく必要がある。

#### 2 日本国内における国際大会の開催

日本国内における国際大会の開催は、大会結果に与えられるランキング・ポイントを通じたオリンピック・パラリンピックや世界選手権・ワールドカップ等のより上位の国際大会への参加資格獲得機会として重要であるだけでなく、近隣諸国への大会参加機会提供という日本のアジアにおける貢献、という意味でも重要である。

トラック・レースについては、アジア諸国が年間数次にわたる国際大会を実施する機運にあることに対応し、ひきつづきトラックジャパンカップなど、国際カレンダー登録大会の実施・公認を積極的に推進する。

ロード・レースについては、UCIカレンダー登録大会を日本国内で積極的に開催し、サイクルスポーツの日本における活性化を図るとともに、日本人選手の国際的な活躍の基礎を確保することにつとめる。特に、近年アジア諸国が実施してきている女子のUCIカレンダー登録レースが日本ではひとつも実施されていない状況に鑑み、女子レースの拡充を図る。

パラサイクリングについては、ひきつづきUCIポイント対象大会の開催に前向きに対応していく。

マウンテンバイクについては、日本国内で獲得可能なUCIポイントの拡大に向けて、UCI登録レース数の拡充を図る。



シクロクロス、BMX、インドア、トライアルについても、UCIカレンダー登録レースの開催を引き続き積極的に推進する。

### 3 全日本選手権大会の開催

**3-1** オリンピック・パラリンピック実施5種目を含む、UCI管轄8部門での全日本選手権大会開催

国際自転車競技連合（UCI）の管轄する自転車競技8種目（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）の全種目において全日本選手権大会を開催し、我が国における自転車競技の普及・振興を図る。これら全日本選手権大会は日本国内における最高位の大会として相応しい、国際規則に準拠した高度で円滑な大会運営と、高いコストパフォーマンスのバランスを追求しつつ、原則として国際大会への派遣代表選手選考の機会としての設定し、参加者のモチベーションを高く保つこととする。

オリンピック・パラリンピックの開催種目であるロード、トラック、MTB、BMX、パラサイクリングについては、2020年の大会開催へ向けた準備を意識しつつ取り組んで行く。

アジア選手権でマスターズ・ロードレースが実施されることに対応し、その選考大会となりうる全日本マスターズ選手権・個人タイムトライアルロードレースを実施する。

### 3-2 参加申込み資格の明確化と多様化

全日本選手権大会への参加申込み資格としては、すでに国際的に活躍してUCIランキングポイントを保持している者や前年度全日本選手権大会で一定の成績を収めている経験豊富な競技者を含めることと併せて、日本国内各地で行われる本連盟・加盟団体主催事業大会、ならびに他の団体が主催者となり本連盟が主管もしくは公認する大会から広く上位者を選定する。これにより、地域的・階層的に幅広く門戸が開かれたハイレベルな選手層の参加に配慮するとともに、地域における大会開催意欲の喚起を図るものとする。

### 3-3 開催地公募制度の活用

大会の開催にあたっては開催地の協力が不可欠なことから、開催地公募制度を種目毎の特性に応じて活用し、人的・施設の・資金的側面等において手厚い協力が得られる地方との連携を図りつつ、活力ある大会運営を図る。

また、各地域における大規模大会の実施が、当該地域における継続的な大会開催のきっかけとなるよう、大会運営ノウハウの蓄積と伝授に留意する。

### 3-4 大会開催資金の獲得

大会開催資金の獲得にむけて、協賛企業の募集・マスメディアに対する働きかけ、開催地行政との調整、運営コストの見直しを多角的に進めることとする。

### 3-5 アンチ・ドーピング活動の徹底

アンチ・ドーピング委員会と連携し、全日本選手権ならびにそれに準ずる全国大会でのアンチ・ドーピング活動を行う。

## 4 国民体育大会の女子種目導入への取り組み

昨年度岩手国体からトラック女子種目（チームスプリント、ケイリン、スクラッチ、参加数各都道府県2名）が実施された。引き続き、女子参加選手数の増大、ロード競技の実施にむけて、より一層の女子登録競技者数の増大をはかる。

## 5 日本国内における国内カレンダー大会の開催・登録

自転車競技の普及・発展には登録者数の増大が必須であり、登録者数の増大には、登録者が参加可能な大会数の増大が必須である。本連盟の主催大会実施数にはおのずと限界があり、本連盟登録者を対象とした大会数の大幅な増大には、各地域における主催者との連携し、本連盟が競技面に適切に関与し、状況に応じて大会の主管・後援等を行うことによって多数の大会を実現していく必要がある。後援等に関する基準を再整備するとともに、積極的に運用していくこととする。

## 6 審判・スタッフ等の研修・資格制度の充実

自転車競技の普及発展には、安全で円滑に運営される大会数の充実が必要であり、それを担う高度な技量と経験を有する審判の育成が必須であり、引き続き公認審判員の育成・研修に力を注ぐ。公認審判員は、大会運営の質の確保にあたり必須の資源であり、本連盟の事業的発展には公認審判員の人的資源の発展が必須であって、公認3級審判員、2級審判員講習会の実施主体たる加盟団体の継続的協力を引き続き強く要請する。

また、将来的に国際コミッセルとして執務可能な人材の育成にも長期的視点で取り組み、1級審判員講習会の講義内容・試験の質的向上を図る。とりわけ2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に、開催国が選出・提供すべきナショナル・コミッセルの数と質を確保するため、対象5種目の2級審判員数の増大と質的向上に努力する。

講習会カリキュラムについては、講習会用ツールの開発・改善を進めて、講習会の質的向上をはかりつつ、開催時の負担軽減によって講習機会の増大も図る。

## 7 コーチ・スタッフ等の研修・資格制度の充実

大会運営のレベル向上には選手・審判のみならず参加するチーム・スタッフの基礎的知識・技能の向上も必須である。

大会に参加するものは遍くライセンス保持者であることが求められる。当連盟としてもコーチライセンス、チームアテンダントライセンス保持者の増大に向けて、講習会の活性化を図るとともに、大会毎に必要なライセンスレベル・人数を明示していく方向とする。

## 8 競技者ライセンス制度の充実

競技として行われるサイクルスポーツには、我国における自転車競技の普及発展に必要な登録競技者数の増大と、登録者向け大会数の増大に向けて、すでに制度化されているピギナー向け大会における臨時登録

制度の活用とともに、ピギナー・若年層が登録しやすい仕組の拡充を図る。

2013年度から実施された通年登録者（プロフェッショナル競技者を除く）に対する賠償責任保険の自動付帯は、概ね肯定的な評価を受け、登録料の値上げを伴ったものの、微増ながら登録競技者の増加に寄与した。万が一の事故時対策が強化されたことの周知徹底をはかり、登録競技者数の増大に寄与することが期待される。もちろん、大会中・練習中を含めて事前の事故防止対策が重要である。

2017年ライセンスから、申込み者がインターネットにより直接入力可能な登録システムの運用を行うとともに、暦年発行（有効期間1/1-12/31）とする。（2017年度は経過措置として4/1-12/31とする）

今後引き続き、傷害保険のオプション付与やツアー関連のメリット付与等、ライセンス保持者へのサービスレベル向上の検討を進める。

## 9 ランキング制度の運用

ロードレース・ランキング、チームランキングについて、適宜対象大会の見直しつつ運用する。引き続きUCIランキングとの整合性が高く、日本各地での大会開催機運の醸成に寄与し、選手選考等の有効なツールとして位置づけていく。

## 10 チーム登録制度の運用

チーム登録制度について、すでに実態として運用されている全国団体の運用を継続すると共に、全国団体登録以外のチームについて都道府県登録の運用を開始する。

## 11 審判器材

競技運営に用いる審判器材について、記録の信頼性を確保するため、一定の基準を設けることを検討する。

## 12 パブリシティへの対応

競技大会運営にあたっては、安全・公平・公正なる運営を旨としつつも参加者・観客視点を尊重し、より多くの人々から共感を得て我国における自転車競技の普及発展に寄与することを目指すとともに、新たな競技者の登録へのきっかけづくり、メディアへの露出度向上を通じた各方面からの支援・協賛の増大に配慮する。

とりわけ、本連盟が主催する全日本選手権大会については、動画を含めた映像の配信とアーカイブとしての記録の拡充を図る。また、日本国内で行われる国際大会についても、メディア露出機会増大に努める。

## 13 東日本大震災復興支援への取り組み

本連盟として復興支援に寄与可能なことは何があるか、という問いは永遠に続くが、被災地・周辺における大会の開催、は比較的容易な回答のひとつである。大会開催は、場合によっては開催地に負担をかける危惧もあるが、参加者・大会運営関係者・観客・メディア関係者など多くの人々が訪問することは、震災に対する認識を新たにさせる機会の提供になるのではないかと。

本年度はトラック全日本選手権を宮城県

(大和町)で、ロード全日本選手権を青森県(階上町)で開催する。

被災後、山形県・新庄市サイクルスポーツセンターのトラックが使用不能である。

その改修に関して前記の250mトラックを強力に推進していく。

#### 14 小委員会、部会制度の活性化

種目別小委員会活動の活性化を図り、UCI管轄 8 部門すべてに亘る自転車競技の振興を推し進める。コミッセル部会活動の活性化により、大会競技運営の質的向上と、コミッセルの将来的な人材育成を図る。必要に応じて、小委員会の再構築を行う。

### 【選手強化委員会】

#### 1 選手強化の重点施策

オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際大会におけるトップアスリートの活躍は、国民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与することから、引き続き世界で通用する競技者を計画的にタレント発掘・育成・強化し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会でのメダル獲得と、その後の継続した競技の発展を目的として事業を実施する。

特に、本年度は以下の項目を重点施策として実施する。

- (1) 世界強豪選手と対等に戦えるパワー強化。
- (2) 将来的にメダル候補が期待できる女子選手の強化。
- (3) 競技力向上に関わる医学的・科学的サポートの充実。
- (4) ジュニア世代からの一貫した強化プログラム作成及び指導者養成。
- (5) 才能を発掘するための発掘事業の実施。
- (6) 地域タレントを指導する地域ハブの醸成と地域コーチの育成。
- (7) 一貫した指導方針のもと地域タレントからナショナルタレント、MPA(メダルポテンシャルアスリート)まで強化。

#### 2 トラック競技の強化

短距離コーチとして昨年度迎えたブノワ・ベトゥ、ジェイソン・ニブレットの元、2020年東京オリンピックでのメダル獲得を目標としてトップ選手を育成・強化、UCI公認国際大会へ積極的に派遣し、ワールドカップ、世界選手権大会等全種目での参加枠獲得に努め、ワールドカップでのメダル獲得、世界選手権での入賞を目指す。

またこれに加え、次の世代の選手並びに指導者を育成する体制を整える。

#### 3 ロード競技の強化

東京オリンピックを3年後に控え、男子エリートについてはナショナルプロジェクトとして活動する NIPPO VINIFANTINI と協力して強化を行う。加えて、すでに実績のあるターゲット選手への個別サポートを行い、ワールドツアークラス以上での成績向上、そしてヨーロッパの拠点を活用したU23強化指定選手を中心とした強化活動により、次期ワールドツアーで活躍ができる選手の輩出を狙う。

さらに女子については、強化選手に対して今年も海外チームに紹介する機会を設け、移籍を促すことでUCIポイント獲得レースに参加する選手数を増やす。また国内メインで活動している選手にもポイント獲得を狙えるだけの力をつけるための合宿、海外遠征を行ない、オリンピック時に参加枠を増やしてオリンピックで戦えるチーム体制を作る。まずはヨーロッパでの1、2または2、2クラスでのステージ3位以内を目指し、その他国際大会においては、U23の選手を中心としてナショナルチームを編成し、国際大会へ積極的に派遣し選手強化・育成に努める。

#### 4 マウンテンバイク競技の強化

東京オリンピックでのメダル獲得に向け、男子2名以上、女子2名の参加枠獲得には複数名のUCIランキング上位者が必須であり、東京までの世界選手権大会、ワールドカップで少なくとも2回以上の入賞を目指して、本年はアジア地区、東南ヨーロッパなどのHC、C1クラス大会などを中心に派遣し、各個人ランキング男子は40位以内、女子は30位以内を目指す。併せて国内強化指定選手における(ユース、ジュニア、U23)若年層からの強化・育成に努める。

#### 5 BMX競技の強化

BMX・レースは引き続きUCI公認国際大会派遣により世界選手権の参加枠獲得に努め、また、ユース層の強化育成選手を中心に、日本サイクルスポーツセンターを合宿拠点として活用し、世界選手権大会等での上位入賞に努める。

加えて、海外での合宿を実施し、国際規格のコースにて練習を積むことで、国別ランキングを上げ、東京オリンピックの参加枠男子2名以上、女子1名以上の獲得を目指す。ジュニア競技者の強化については、国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化・育成に努める。

また、新たに加わったBMX・フリースタイルについては、本年度から正式種目となり、東京オリンピックでの正式種目化の可能性もあり、BMX小委員会の中で強化の在り方について検討を始める。

#### 6 ジュニア・女子競技者の強化

各種目ヘッドコーチをジュニア競技者強化合宿へ積極的に派遣し、一貫した選手の強化・育成に努める。

女子競技者の強化については、本年度も国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化・育成に努める。

#### 7 選手発掘事業

他種競技団体との連携を密にし、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の発掘に努める。

選手発掘事業については、日本スポーツ振興センター主催のタレント発掘・育成(NTID) 合同トライアル、並びにガールズサマーキャンプを通じて選手発掘に努める。

### 【アンチ・ドーピング委員会】

海外におけるドーピング防止規則違反報道では、自転車競技といえばドーピングというイメージを与えるほどスポーツ界のみならず、社会全体にマイナスイメージを与えている。このことは本連盟にとっても非常に重要な意味を持つものであり、真摯に受け止め、ドーピング防止策を速やかに進めていかなければならない。

具体的には、ドーピング防止ならびに抑止の核をなす二本の柱、すなわち「ドーピングコントロール(検査)」、ならびに「アンチ・ドーピング教育」を活動の軸にすえて事業の実施を行う。

#### 1 ドーピングコントロール(検査)の実施と検査体制の充実

##### (1) 検査実施予定対象大会

国内で開催される全日本選手権大会、国際大会で実施。その他大会においても全日本選手権レベルの大会であれば実施を図りたい。

##### (2) 競技会検査への協力

国内で開催される全日本選手権(ロード、トラック、シクロクロス、マウンテンバイク、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング)大会、ならびに国際大会において検査を実施する。検査の実施に当たっては、検査の国内統括機関であるJADA(日本アンチ・ドーピング機構)主幹の下、JADA派遣DCO(ドーピング・コントロール・オフィサー)が検査を行い、本連盟NF-Rep(国内連盟代表者)は円滑に検査が行われるよう支援し、また検査を受けるにあたり、本連盟所属選手が被害をこうむることなく、検査の公平性、客観性を保つことに努める。

##### (3) シャペロンの増員、継続性

WADA規程、UCI規則両面から競技会検査におけるシャペロン(検査補助)の役割が重要になってきている。具体的には、対象選手をよりきめ細かく監視し、検査室に誘導するためには人数の増員が不可欠であり、それらを実践させる為に現在いるシャペロン人数増員の必要性について、各大会主催者側へ協力を依頼する。さらにシャペロン経験者に多くの競技会検査業務を経験させ、継続して従事できるように養成していくことも重要である。

#### 2 アンチ・ドーピング教育啓発活動の充実

(1) 教育啓発活動の充実を図るには、その一つとして講習会の開催が必要であるが、アンチ・ドーピング委員会単独で開催するには受講者への広報が現実的には難しく、審判講習会、他各加盟団体事業と広く協力し、同会場、同日程で開催するなどの工夫が必要である。

(2) 開催される講習会にはアンチ・ドーピング委員会委員を始めとし、積極的に講師の派遣を計りたい。

(3) JCFホームページによるUCI規則の改訂、禁止表国際基準の変更、スポーツファーマシスト検索、TUE申請に関する問い合わせ等の広報を行っているが、これをさらに充実させ選手・監督からの要請に応えたい。



(4) WADA 規程、UCI の競技規則改定があった際、選手・監督がより理解しやすいように変更点を抽出するなどして掲載する。

### 3 RTPA 対象者への喚起

本連盟所属の※RTPA (Registered Testing Pool Athletes) に現在10数名が登録されている。居場所情報提出の支援や問い合わせへの対応を行い、事務局を通して、本連盟アンチ・ドーピング委員会の事業の一環として行う。

また、調査を行っている摂取医薬品リストの解析を本年度も引き続き行い、解析結果をアンチ・ドーピング教育啓発に供したい。

(1) RTPA とは、JADA または国際競技団体 (IF) の検査対象者登録リストへ登録されたトップクラスのアスリートのこと。RTPA になると、事前通告なしの競技会外検査をより効果的に受け、自らがクリーンであることを証明するために、インターネット上のドーピング防止管理運営システム (ADAMS) を通じて四半期ごとに3ヵ月分の居場所情報を提出する必要がある。

(2) 居場所情報は、居住地・宿泊地・トレーニング場所や競技会などの情報を、例えば部屋番号まで詳細に提出しなければならず、さらに、必ず検査に対応できる時間と場所を指定する「60分の時間枠」を指定することも義務付けられている。60分枠で指定した時間と場所にいなかった場合(検査未了)、または居場所情報が期限までに未提出および、アップデートされてない(居場所情報未提出)ことが12ヶ月間で合計3回になると、「ドーピング防止規則違反」となり、4年間の資格停止になる可能性がある。

### 【国際推進部会】

本連盟によるチーム派遣のみならず個々のチーム、競技者、審判員らによる多様な国際競技活動や、国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の体制の整備など、多年に亘り国際的活動は増加し続けている。

この状況下、わが国と世界、特にアジア圏の自転車競技の健全な継続的発展に資するために、国内、国外から評価される高いブランド力が求められる。

そのために国際的競技大会の質を高め、さらに国内大会に反映させるためにも、国際的な情報の収集、共有、発信とともに優れた制度の導入も含めた実践も重要である。

これらのことを踏まえて、国際推進部会は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘・養成・登用、資料・文書の2ヶ国語(日本語・英語)化、国内外の情報の収集、対外(国内外)的な情報の蓄積及び公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化及び国際化に必要な事項の実践のための施策を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者/関係団体/関係国との良好で緊密な協力関係を醸成すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

## II 実施事業

### 1 国内競技大会関係事業

- ① 全日本自転車競技選手権大会  
(ロード、個人ロードタイムトライアル、トラック、オムニウム、マスターズ・トラック、室内自転車競技、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX、トライアル、パラサイクリング、マスターズ個人タイムトライアル)
- ② その他国内大会  
(全国都道府県対抗、JOCジュニアオリンピックカップ、全国ジュニア・ロード、日本スポーツマスターズ、チャレンジサイクルロードレース、国民体育大会自転車競技会、MTBCJシリーズ、室内チャンピオンズカップ、室内ジャパンカップ)

### 2 国内での国際競技大会 ※右端の英数字はクラス表示

- ① ツアー・オブ・ジャパン (大阪～東京) 2.1
- ② ツール・ド・おきなわ (沖縄県・北部) 1.2
- ③ ツール・ド・北海道 (北海道・道南) 2.2
- ④ TOUR de 熊野 (和歌山県・新宮市他) 2.2
- ⑤ ツール・ド・とちぎ (栃木県) 2.2
- ⑥ ジャパンカップサイクルロードレース (栃木県・宇都宮市) 1.HC
- ⑦ ニセコクラシック (UWCT) (北海道) UGF
- ⑧ ジャパントラックカップ 1.2  
(静岡県・伊豆ベロドローム) C1
- ⑨ ツールドフランスさいたまクリテリウム (埼玉県・さいたま市) CRT
- ⑩ 堺国際クリテリウム (大阪府・堺市) CRT
- ⑪ 神宮外苑クリテリウム (東京・神宮外苑) CRT
- ⑫ JICF インターナショナルトラックカップ (長野県・松本市) C2
- ⑬ 茨城シクロクロス取手ラウンド (茨城県・取手市) C2
- ⑭ 東北CXプロジェクト寒河江ラウンド (山形県・寒河江市) C2
- ⑮ スターライトクロス (千葉県・千葉市) C2
- ⑯ 関西シクロクロス・マキノラウンド (滋賀県・高島市) C2
- ⑰ ラフナーパークロス野辺山高原ラウンド Day1, 2 (長野県・野辺山高原) C2
- ⑱ 宇都宮シクロクロスシリーズ (栃木県・宇都宮市) C2
- ⑲ CJ八幡浜インターナショナルクロスカントリー (愛媛県・八幡浜市) C1
- ⑳ オールやまぐちライドフェスタ (山口県) C2
- ㉑ 勢和多気国際 XCO (三重県・多気町) C3
- ㉒ ひたちなかBMX国際 (茨城県・国営ひたちなか海浜公園) C1
- ㉓ UCI サイクルサッカー・ワールドカップ (未定) CDM
- ㉔ パラサイクリング明治神宮外苑クリテリウム (東京・神宮外苑) C1
- ㉕ ジャパンパラサイクリングカップトラック (静岡県・伊豆ベロドローム) C1

### 3 国際競技大会関係主要事業

- ① 世界選手権自転車競技大会選手派遣 (トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車競技、シクロクロス、トライアル、

- Jrトラック、パラサイクリング)
- ② ワールドカップ大会選手派遣 (トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX)
- ③ アジア自転車競技選手権大会選手派遣 (トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車競技、パラサイクリング)
- ④ その他UCIトラックカレンダーレースへの派遣
- ⑤ 国際会議への派遣
- ⑥ ナショナルチーム強化と一貫通貫した方針での地域タレントハブの醸成

## 4 加盟団体関係主要事業

### (1) 都道府県連盟関連事業

- ① 全国地域別道路競走大会 (8地域)
- ② 全国地域別トラックレース大会 (8地域)
- ③ 全国都道府県別自転車競技選手権大会 (47都道府県)

### (2) 日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

- ① 全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ② プロサイクリスト選手強化
- ③ プロサイクリスト国際競技大会

### (3) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業

- ① 全国高等学校選抜自転車競技大会 (トラック、ロード)
- ② 全国高等学校自転車競技全国合宿 (ブロック・全国)
- ③ 全国高等学校総合体育大会

### (4) 日本学生自転車競技連盟関連事業

- ① 全日本学生選手権自転車競技大会 (トラック、ロード、チームロード)

### (5) 全日本実業団自転車競技連盟関連事業

- ① JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ
- ② JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ
- ③ 東西地域別実業団 (トラック、ロード)
- ④ JBCF 石川サイクルロードレース

## 5 アンチ・ドーピングの推進事業

アンチ・ドーピング委員会が主体となり、他の委員会と連携し、競技会検査、アンチ・ドーピング講習会、アウトリーチプログラム、アンチ・ドーピング教育啓発活動を行う。

## 6 強化事業

- (1) 強化合宿
- (2) 国内屋内型競走路合宿
- (3) コーチ・スタッフの整備等
- (4) 競技用機材等整備
- (5) 地域タレントハブの整備

## 7 普及事業

- (1) 全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会
- (2) 自転車競技の普及・広報
- (3) 広報誌発行事業
- (4) 未登録者推進に係るシステム改修
- (5) 広報 (宣伝、現地報道対応)
- (6) アンチ・ドーピング活動
- (7) 国際審判員養成・講習会
- (8) 登録者安全講習会、コーチ講習会

# 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

## CdJ 菅蒲谷カヌスカトリ-XCO C/J2 (2017/4/8-9 兵庫・たつの)

### 男子U23 (20km) \*\*アンダー 23

- 1 平林 安里 \*長野 Specialized 1:13:37.415
- 2 前田 公平 東京 弱虫ハ゜タル 1:15:28.829
- 3 小野寺 健 神奈川 drawer 1:15:41.470

### 女子U23 (12km) \*\*ジュニア

- 1 川口うらら \*兵庫 Sonic 1:02:50.120
- 2 橋口 陽子 東京 轍屋 1:25:23.059
- 3 中島 峻歩 三重 WIAWIS -1 lap

### 男子ジュニア (12km)

- 1 村上功太郎 愛媛 松山工高 47:17.756
- 2 神永 真一 大阪 ProRide 47:47.962
- 3 石川 絃 愛知 サッサス 53:05.542

### 男子マスターズ (12km)

- 1 酒居 良和 広島 マンボト 1:01:56.317
- 2 丸畑 明彦 大阪 PC 松本 1:03:28.743
- 3 浅田 知寿 愛媛 焼鳥山鳥 1:03:38.683

### 男子U18 (8km)

- 1 山口 創平 滋賀 ProRide 37:55.265
- 2 村上裕二郎 愛媛 DECOJA 39:45.742
- 3 中島 渉 埼玉 Lim.846 40:55.148

## CdJ 八幡浜国際カヌスカトリ-UCI-C1 (2017/4/22-23 愛媛・八幡浜)

### 男子U23 (25.80km)

- 1 SAWADA Toki Anchor 1:21:17.29
- 2 ONDA Yuichi MIYATA 1:22:06.65
- 3 TAKENOUCHI Yu Toyo F. 1:22:29.42

### 男子U23 (25.80km)

- 1 HIRABAYASHI Ari Specialized 1:21:09.87
- 2 YAMADA Masaki MIYATA 1:26:00.26
- 3 UENO Ren MASAYA 1:27:14.37

### 男子ジュニア (21.50km)

- 1 MURAKAMI Kotaro 松山工高 1:11:53.70
- 2 CHANGHYEON Kang FDR 1:13:43.08
- 3 KAJI Tetsuki Sonic 1:14:11.82

### 男子U18 (12.90km)

- 1 松本 一成 長野 SCOTT 44:23.96
- 2 村上裕二郎 愛媛 DECOJA 45:34.13
- 3 山口 創平 滋賀 ProRide 46:06.87

### 男子マスターズ (17.20km)

- 1 酒居 良和 広島 マンボト 1:04:57.98
- 2 檜垣 良一 愛媛 焼鳥山鳥 1:05:22.61
- 3 多田 尚史 東京 acu-power 1:05:34.74

### 女子U23 (21.50km)

- 1 IMAI Miho SCOTT 1:35:29.87
- 2 HASHIGUCHI Yoko 轍屋 1:38:14.73
- 3 SANAGAWA Yoshimi Nipopo -2laps

### 女子U23 (21.50km)

- 1 DORMITORIO Ariana Thea Patrice ARIANA 1:28:32.99
- 2 SATO Toshimi drawer 1:37:45.33
- 3 CHEN Zi Yin Liv 1:38:55.72

### 女子ジュニア (17.20km)

- 1 KAWAGUCHI Urarasonic 1:04:42.07

- 2 MATSUMOTO Rina GRM 1:14:11.99
- 3 YAMADA Yuki BG8 1:16:53.12

### 女子U18 (8.60km)

- 1 小林あかり 長野 MTB 安曇野 37:39.76
- 2 福永 真海 熊本 q-shu union 52:05.60

### 女子マスターズ (8.60km)

- 1 北島 優子 千葉 ハ゜スホ゜ツ 52:41.05

## CdJ びわこ高島 STAGE XCO/DHI (2017/5/4-7 滋賀・高島)

### XCO 男子U23 (26.88km)

- 1 前田 公平 東京 弱虫ハ゜タル 1:20:03.94
- 2 宮津 旭 埼玉 PAXPRO 1:20:48.36
- 3 恩田 祐一 新潟 MIYATA 1:21:31.46

### XCO 男子ジュニア (17.92km)

- 1 北林 力 長野 ProRide 56:30.67
- 2 小林 勇輝 長野 GRM 56:38.67
- 3 神永 真一 大阪 ProRide 59:01.68

### XCO 男子マスターズ (17.92km)

- 1 品川 真寛 神奈川 YOUCAN 59:56.63
- 2 酒居 良和 広島 マンボト 1:03:49.55
- 3 澤田 泰征 東京 VOLCA 1:05:28.35

### XCO 男子U18 (13.44km)

- 1 松本 一成 長野 SCOTT 43:17.03
- 2 山口 創平 滋賀 ProRide 43:45.33
- 3 中島 渉 埼玉 Limited846 44:23.49

### XCO 女子U23 (17.92km)

- 1 小林可奈子 長野 MTB 安曇野 1:14:16.97
- 2 今井 美穂 群馬 SCOTT 1:17:48.15
- 3 橋口 陽子 東京 轍屋 1:18:14.36

### XCO 女子ジュニア (13.44km)

- 1 川口うらら 大阪 Sonic-R. 48:27.94
- 2 松本 璃奈 長野 GRM 55:50.78
- 3 中島 悠里 山梨 maillotSY-Nak -1lap

### XCO 女子マスターズ (8.96km)

- 1 辻 瑞穂 神奈川 PAXPRO 44:27.21
- 2 中村 園子 長野 MTB 安曇野 45:06.11

### XCO 女子U18 (8.96km)

- 1 小林あかり 長野 MTB 安曇野 37:50.84
- 2 福永 真海 熊本 Q-ShuUnion 51:52.92

### DHI 男子U23

- 1 清水 一輝 愛知 Patrol mt. 3:22.518
- 2 井岡 佑介 愛知 重力技研 3:22.614
- 3 浅野 善亮 愛知 GIANT 3:22.762

### DHI 男子マスターズ

- 1 Gilnsen Paul IRL Nukeproof 3:40.868
- 2 三山 孝幸 石川 FRS 3:47.739
- 3 Marc WYCKMANS AUS Kiroka 3:47.824

### DHI 男子U18

- 1 山田 淳一 愛知 重力技研 3:31.048
- 2 秋元 拓海 福島 PAX 3:36.808
- 3 古城 栄翔 広島 Commencal 4:02.183

### DHI 女子U23

- 1 中川 弘佳 大阪 Lovespo 4:11.000
- 2 富田 敬子 奈良 Acciarpone 4:12.012
- 3 安福 範子 愛知 ACCEL 4:17.645

## -平成 28 年度地域大会-

### 第 50 回北海道自転車競技選手権大会 (2016/6/26 北海道・函館競輪場)

#### 1km タイムトライアル

- 1 大森 光明 北海道 1:09.40
- 2 渋谷 海 北海道 1:11.29
- 3 大坪 優介 北海道 1:11.52

#### ケリ

- 1 渋谷 海 北海道
- 2 俵 央育 北海道
- 3 菊地 洗成 北海道

#### 4km 速度競走

- 1 大坪 優介 北海道 5:41.98
- 2 中谷 亮太 北海道
- 3 長谷川清哉 北海道

#### スプリント

- 1 渋谷 海 北海道
- 2 大森 光明 北海道
- 3 菊地 洗成 北海道

#### チームスプリント

- 1 函館大谷高等学校
- 2 8823 ファルコネ・トラックサイクリング S
- 3 8823 ファルコネ・トラックサイクリング A

### 北海道地域自転車道路競走大会

#### 第 5 回インガル・サン・ロード

(2016/6/19 北海道・遠軽)

#### 地域別U23 (132km)

- 1 熊坂 和也 NISEKO 3:47:38.29
- 2 中川 拳 イングレツ 3:47:43.84
- 3 大坪 優介 NSR 3:48:42.26
- 4 松下 諭喜 Peach MAX 3:48:52.82
- 5 佐々木年史 Peach MAX 3:51:50.62
- 6 平田久仁枝 DOKYU RC 4:01:52.78

#### 地域別大会 (132km)

- 1 Peach MAX 佐々木年史 3:51:50.62
- 2 DOKYU RC 本谷 渉 4:03:12.28
- 3 イングレツ+勝北部 小島 徹 4:03:23.72
- 4 Team NISEKO 清水 乾 4:05:03.17
- 5 NSR 尾崎 義規 4:09:10.35

### 第 43 回東北総合体育大会

(2016/8/21 青森・階上町)

#### 成年U23

- 1 今田 崇史 山 形 3:04:01.32
- 2 久保田元気 福 島 3:04:02.73
- 3 島山 和也 宮 城 3:04:09.34
- 4 鈴木 寛基 山 形 3:04:15.69
- 5 武田 祥典 山 形 3:04:30.23
- 6 佐藤 利英 岩 手 3:04:49.87

#### 少年U23

- 1 鶴沼 利久 福 島 2:07:51.47
- 2 西塔 愛良 山 形 2:07:52.02
- 3 根本 雄真 福 島 2:08:01.51
- 4 小田原健誠 青 森 2:12:18.14
- 5 室内 瑞貴 宮 城 2:12:37.21
- 6 角田 光 福 島 2:13:10.22

#### 成年スプリント

- 1 三浦 元緋 岩 手
- 2 佐々木眞行 岩 手
- 3 八木澤友貴 青 森



## 成年 1km タイムトライアル

1	三浦 元緋 岩 手	1:07.58
2	久保田元気 福 島	1:08.15
3	三浦 康嵩 青 森	1:08.91

## 成年ケリソ

1	河野 竜太 福 島
2	小磯 太一 福 島
3	澤口 馨太 岩 手

## 成年スクラッチ

1	久保田元気 福 島	10:16.15
2	緑川 竣一 福 島	
3	三浦 康嵩 青 森	

## 成年ポイントレース (30km)

1	緑川 竣一 福 島
2	今田 崇史 山 形
3	武田 祥典 山 形

## 少年スプリット

1	嵯峨昇喜郎 青 森
2	小原文一郎 青 森
3	石井 洋輝 福 島

## 少年 1km タイムトライアル

1	石井 洋輝 福 島	1:07.61
2	後藤 勝太 宮 城	1:08.45
3	高木 郁哉 宮 城	1:08.54

## 少年ケリソ

1	伊藤 奎 福 島
2	根本 雄真 福 島
3	高木 郁哉 宮 城

## 少年スクラッチ

1	水野 慎人 福 島	10:20.43
2	角田 光 福 島	
3	大川 剛 青 森	

## 少年ポイントレース (24km)

1	鶴沼 利久 福 島
2	水野 慎人 福 島
3	西塔 愛良 山 形

## チームスプリット

1	青 森 小原・嵯峨・八木	1:16.24
2	宮 城 高木・後藤・高橋	1:16.29
3	福 島 青柳・伊藤・平山	1:07.36

## チームポイントレース

1	福島 久保田・緑川・石井・鶴沼	4:28.78
2	岩手 糸井・佐々木・澤口・大中	4:41.91
3	山形 武田・西塔・太田・今田	4:42.10

第 68 回関東自転車競技選手権大会  
(2016/7/10 埼玉・大宮双輪場)

## 男子スプリット

1	坂井 洋 栃木 日本大学
2	新井 友陽 埼玉 順天堂大学
3	鈴木 玄人 東京 法政大学

## 男子 1km タイムトライアル

1	山本 修平 東京 日本大学	1:06.339
2	隈園 郷史 埼玉 明治大学	1:07.050
3	手嶋 将大 千葉 早稲田大	1:07.912

## 男子ケリソ

1	坂井 洋 栃木 日本大学
2	隈園 郷史 埼玉 明治大学
3	山本 修平 東京 日本大学

## 男子スクラッチ (8km)

1	伊藤 和輝 東京 早稲田大学
---	----------------

2	依田 翔大 山梨 甲府工業高校
3	安彦 統賀 埼玉 川越工業高校

## 男子ポイントレース (24km)

1	吉田 悠人 栃木 日本大学	30p
2	片桐 善也 新潟 日本大学	26p
3	關根 論容 埼玉 観明高校	15p

## 男子チームスプリット

1	東京 鈴木・山本・小林	48.363
2	栃木 幸田・坂井・宇賀神	49.013
3	埼玉 小泉・隈園・新井	49.132

## 男子チームポイントレース

1	栃木 眞杉・吉田・佐々木・小野寺	4:30.517
2	茨城 須貝・保坂・直井・松崎	4:32.016
3	埼玉 池西・有山・安彦・關根	4:35.245

## 女子スクラッチ (6km)

1	石上 夢乃 神奈川 横浜創学館高校
2	小口加奈絵 栃木 作新学院高等学校
3	新井 美菜 埼玉 県立川越工業高校

## 女子ケリソ

1	藤田まりあ 埼玉 埼玉県立浦和高校
2	春原 美季 茨城 順天堂大学
3	野島理沙子 神奈川 横浜創学館高校

## 女子チームスプリット

1	神奈川 野島・石上	39.715
2	埼玉 藤田・新井	39.946
3	茨城 春原・原田	40.001

第 51 回高石杯関東地域自転車道路競争大会  
(2016/5/29 群馬・群馬 CSC)

## 一般男子 (78km)

1	佐野 千尋 北海道 イケメ	1:59:53.592
2	淵田 祐 新潟 麒麟山	2:00:08.769
3	中村 文武 東京 FIETS	2:00:14.242
4	奈良 浩 埼玉 WalkRide	2:00:26.487
5	花田 聖誠 東京 昭和一	2:01:43.330
6	小林 宏志 栃木 Honda	2:01:43.460

## 高校男子 (66km)

1	篠田 幸希 群馬 前橋工	1:42:24.901
2	中川 涼 埼玉 浦和工	1:42:25.214
3	矢光 孝輔 山梨 甲府工	1:42:25.410
4	小野寺 慶 栃木 真岡工	1:42:25.555
5	松崎 広太 茨城 取手一	1:42:25.647
6	梶 野明 神奈川 ヘルマーレ	1:42:25.921

## 中学男子 (30km)

1	海野 晋作 東京 Ventos F50	24.327
2	相原 士穂 神奈川 ヘルマーレ	50.24.559
3	篠原 輝利 茨城 明光中学	50.25.811
4	阿部 賢明 新潟 チームフィズ	50.26.362
5	江見 俊輔 東京 銀座中学	53.33.496
6	外園晋之介 埼玉 川口車連	54.55.320

## 女子 (30km)

1	細谷 夢菜 埼玉 浦和工高	54:19.160
2	盛永 母映 新潟 麒麟山	54:55.273
3	吉岡 梨紗 東京 ReadyGoJ	55:47.630
4	新保 恵美 新潟 チームフィズ	56:26.493
5	原田 萌花 茨城 取手一	1:00:49.860
6	舟山 杏子 東京 ドリマー	1:03:27.789

第 48 回中部 8 県対抗自転車競技選手権大会  
(2016/9/10 石川・石川県立競技場)

## 成年 1km タイムトライアル

1	碓 優太 福 井	1:07.627
---	----------	----------

2	鈴木 陸来 静 岡	1:07.859
3	相馬 義宗 岐 阜	1:08.242

## 成年スプリット

1	橋本 英也 岐 阜
2	中村 友哉 三 重
3	吉田 英司 福 井

## 成年スクラッチ

1	清水 勇人 愛 知	11:16.990
2	川邊 庸介 三 重	
3	鈴木 康平 静 岡	

## 成年ケリソ

1	寺崎 浩平 福 井
2	内山 雅貴 静 岡
3	橋爪 文太 石 川

## 成年ポイントレース

1	渡邊翔太郎 岐 阜	48p
2	浦田 真成 岐 阜	32p
3	井上 和郎 福 井	21p

## 少年 1km タイムトライアル

1	松本 京太 静 岡	1:07.423
2	五味 大征 三 重	1:07.682
3	岸田 剛 福 井	1:09.432

## 少年スプリット

1	山田 諒 岐 阜
2	吉元 大生 静 岡
3	脇本 勇希 福 井

## 少年スクラッチ

1	菅原 悠斗 岐 阜	8:36.240
2	野村 将矢 富 山	
3	小松原正登 福 井	

## 少年ケリソ

1	三浦 貴大 岐 阜
2	武雄 龍人 三 重
3	河原 八起 富 山

## 少年ポイントレース

1	亀谷 昌慈 岐 阜	26p
2	竹澤 啓介 福 井	17p
3	林 欣司 岐 阜	16p

## チームスプリット

1	福井 寺崎・岸田・脇本	1:17.676
2	静岡 鈴木・吉元・仁藤	1:19.724
3	三重 中村・松本・五味	1:19.822

## チームポイントレース

1	岐阜 橋本・渡邊・浦田・亀谷	4:27.983
2	福井 碓・廣瀬・竹澤・小松原	4:33.199
3	富山 井村・南儀・村田・林	4:42.303

## 女子ケリソ

1	柳原 真緒 福 井
2	宮田 菜摘 岐 阜
3	野寺 楓 静 岡

## 女子スクラッチ

1	橋本 優弥 岐 阜	8:55.870
2	中村 愛花 福 井	
3	東口 純 石 川	

## 女子チームスプリット

1	福 井 柳原・中村	1:00.451
2	岐 阜 宮田・橋本	1:02.635
3	静 岡 野寺・當銘	1:03.032

第50回中部8県対抗自転車競技大会道路競走大会  
(2016/9/11 石川・白山)

男子個人TTロードレース

1	橋本 英也	岐阜	22:17.0
2	渡邊翔太郎	岐阜	22:20.4
3	亀谷 昌慈	岐阜	22:28.4
4	内山 雅貴	静岡	22:36.4
5	阿曾 圭佑	三重	22:40.3
6	廣瀬 元輝	福井	22:57.8

女子個人TTロードレース

1	橋本 優弥	岐阜	25:50.7
2	宮田 菜摘	岐阜	26:07.5
3	川嶋 百香	三重	26:56.8
4	當銘沙恵美	静岡	27:07.7
5	中村 愛花	福井	27:08.0
6	野寺 楓	静岡	27:33.7

第48回近畿地域自転車競技選手権大会  
(2016/7/16-17 奈良・奈良競輪場)

スプリント

1	野島 遊	大阪	AMUSE	11.860
2	久乗 捷吾	大阪	大阪工業大	11.620
3	二宮 敦史	奈良	榛生昇陽高	11.900

1kmタイムトライアル

1	今西 力太	奈良	榛生昇陽高	1:08.010
2	入部 宏樹	奈良	奈良北高校	1:08.560
3	奥村 十夢	奈良	榛生昇陽高	1:10.830

ケリ

1	野島 遊	大阪	TEAM AMUSE
2	岡本 祐典	奈良	奈良北高校
3	中村 葵	奈良	榛生昇陽高校

スクラッチ

1	浜田 樹	大阪	大阪産大付属高校
2	入江 嶺	大阪	大阪産大付属高校
3	西村 剛	滋賀	瀬田工業高校

ポイントレース

1	入江 嶺	大阪	大阪産大付属高	18p
2	浜田 樹	大阪	大阪産大付属高	18p
3	栗栗 颯葵	奈良	奈良北高校	16p

チームスプリント(333.33m×3)

1	榛生昇陽	中村 <sup>実</sup> ・馬越 <sup>実</sup> ・嶋岡	1:16.520
---	------	--------------------------------------	----------

チームタイムトライアル

1	榛生昇陽	奥村 <sup>実</sup> ・西原 <sup>実</sup> ・河野	4:40.590
---	------	--------------------------------------	----------

女子ケリ

1	中本 真弥	和歌山	和歌山北高校
2	阪本ほのか	奈良	榛生昇陽高校
3	布居 光	和歌山	和歌山北高校

女子チームスプリント(333.33m×2)

1	和歌山北高校	中本 <sup>実</sup> ・布居	52.630
---	--------	---------------------	--------

第51回全国地域別自転車道競走大会  
近畿地域大会  
(2016/5/22 京都・美山)

男子(71.4km)

1	下島 将輝	兵庫	ブラーゼン	1:45:13.93
2	小橋 勇利	大阪	シノ	1:45:14.48
3	木村 圭佑	大阪	シノ	1:45:14.66
4	西村 大輝	大阪	シノ	1:45:16.42
5	安田 恭介	京都	京産大	1:45:17.03
6	松木 健治	京都	シルバースト	1:45:17.43

男子ジュニア(40.8km)

1	水口 宙	京都	北桑田高	1:02:26.06
2	小田 隆一	京都	北桑田高	1:02:29.00
3	平松 拓也	京都		1:02:34.64
4	天野 颯太	京都	北桑田高	1:02:46.56
5	中元 優一	京都	北桑田高	1:02:46.99
6	齋藤 真一	大阪	府大高専	1:02:53.61

カテゴリー 2W(40.8km)

1	下山美寿々	大阪	天王寺高	1:08:43.66
---	-------	----	------	------------

平成28年度中国地域自転車競技選手権大会  
(2016/7/10 山口・防府競輪場)

男子スプリント

1	松岡 琢海	倉吉総合産業高校
2	河本 尚也	倉吉総合産業高校
3	川元 蛭詩	広島市立工業高校

男子1kmタイムトライアル

1	池川 瑠威	広島市立工業高	1:10.792
2	松岡 琢海	倉吉総合産業高	1:11.500
3	河本 尚也	倉吉総合産業高	1:12.820

男子ケリ

1	松岡 琢海	倉吉総合産業高校
2	池川 瑠威	広島市立工業高校
3	川元 蛭詩	広島市立工業高校

男子スクラッチ

1	池川 瑠威	広島市立工業高校
2	寺田 隆希	倉吉総合産業高校
3	小泉 雄持	倉吉総合産業高校

男子ポイントレース

1	河内 一晟	VICTOIRE	広島	4p
2	可知 学	倉吉総合産業高校		40p
3	小泉 雄持	倉吉総合産業高校		16p

男子チームスプリント

1	広島市立工業高校	1:08.947
2	倉吉総合産業高校	1:10.663
3	防府商工高校	1:12.903

男子チームタイムトライアル

1	倉吉総合産業高校	4:54.792
2	防府商工高校	5:06.429
3	広島市立工業高校	5:10.526

U-17男子200mタイムトライアル

1	高田優太郎	防府商工高校	13.569
2	中村 壮	防府商工高校	13.745
3	原 竜樹	防府商工高校	13.857

U-17男子1kmタイムトライアル

1	中村 壮	防府商工高校	1:24.622
2	原 竜樹	防府商工高校	1:25.453
3	長弘 天馬	防府商工高校	1:25.894

U-17男子個人タイムトライアル

1	中村 聡哉	広島市立工業高	3:59.862
2	木原与志寛	広島市立工業高	4:08.892
3	中村 壮	防府商工高校	4:27.694

女子200mタイムトライアル

1	伊藤 花歩	鳥取短期大学	12.462
2	國村美留莉	防府商工高校	12.992
3	村木 珠美	防府商工高校	13.638

女子500mタイムトライアル

1	伊藤 花歩	鳥取短期大学	39.035
2	國村美留莉	防府商工高校	40.628
3	村木 珠美	防府商工高校	41.607

女子個人タイムトライアル

1	村木 珠美	防府商工高校	2:54.839
2	伊藤 花歩	鳥取短期大学	2:55.395
3	徳永恵里菜	防府商工高校	3:23.548

女子チームタイムトライアル

1	防府商工高校	52.754
---	--------	--------

第51回中国地域自転車道競走大会  
(2016/6/19 広島・中央森林公園)

一般男子(100km)

1	斎藤 俊輔	広島	広島A	2:47:51
2	皿谷 宏人	広島	広島A	2:48:18
3	井上 泰紀	島根	島根A	2:48:18
4	河内 一晟	広島	広島B	2:48:29
5	河賀 雄大	広島	広島D	2:48:30
6	松下 綾馬	鳥取	鳥取個人	2:48:31

第48回四国地域自転車競技選手権大会  
(2016/10/16 高知・高知競輪場)

男子スプリント

1	柴崎 俊祐	愛媛	松山工業高校教
2	原 良太	徳島	徳島レーシング
3	犬塚 貴之	愛媛	松山城南高校

男子1kmタイムトライアル

1	廣本 凌也	愛媛	松山聖陵高	1:11.11
2	堀 風真	香川	石田高校	1:11.32
3	犬塚 貴之	愛媛	松山城南高	1:11.94

男子ケリ

1	真鍋 智寛	愛媛	松山聖陵高校
2	柴崎 俊祐	愛媛	松山工業高校教
3	桶田 一成	高知	高知工業高校

男子4km速度競走

1	塩崎 隼秀	愛媛	松山城南高	5:12.15
2	森本桂太郎	愛媛	松山聖陵高	5:19.96
3	梅本 泰生	香川	石田高校	

男子スクラッチ(6km)

1	日野 泰静	愛媛	松山城南高	10:24.60
2	小野晟太郎	香川	高松工芸高校	
3	梅本 泰生	香川	石田高校	

男子ポイントレース(24km)

1	日野 凌羽	愛媛	松山城南高校	53p
2	廣本 凌也	愛媛	松山聖陵高校	36p
3	日野 泰静	愛媛	松山城南高校	16p

男子チームスプリント

1	愛媛 真鍋・森本・柴崎	49.03
2	香川 梅本・堀・小野	52.36
3	高知 別役・国則・藤田	53.80

男子4kmチームタイムトライアル

1	愛媛 日野 <sup>泰</sup> ・塩崎 <sup>実</sup> ・日野 <sup>凌</sup> ・犬塚	4:38.12
2	高知 桶田 <sup>実</sup> ・岡村 <sup>実</sup> ・山本 <sup>実</sup> ・山崎	5:11.81

女子500mタイムトライアル

1	真砂なな子	香川	英明高校	39.97
---	-------	----	------	-------

女子2km個人タイムトライアル

1	真砂なな子	香川	英明高校	2:50.40
---	-------	----	------	---------

女子2km個人タイムトライアル

1	川上 唯	徳島	小松島西教	4:30.31
---	------	----	-------	---------

第41回四国地域自転車道競走大会  
(2016/10/30 香川・宝山湖)

男子タイムトライアル

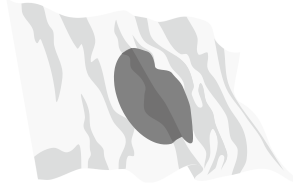
1	中屋 貴義	高知	Cワークス	1:04:14.619
---	-------	----	-------	-------------



2 西野 雅文 徳島 ツル R 1:04:15.804  
 3 磯田 竜介 香川 Tyrell 1:04:15.845  
**男子 U-23**  
 1 平林 楓輝 愛媛 明星大 1:03:29.322

2 小西 瑛久 愛媛 関西大 1:04:14.181  
 3 山本健太郎 高知 高知工 1:04:16.453  
**男子ジュニア**  
 1 森本桂太郎 愛媛 松山聖 1:04:12.407

2 木村 仁 香川 石田高 1:04:14.206  
 3 吉原 愛貴 香川 石田高 1:04:14.300  
 4 梅本 泰生 香川 石田高 1:04:14.395  
 5 角 宗哉 香川 高松工 1:04:14.486  
 6 廣本 凌也 愛媛 松山聖 1:04:14.873



# 日本新記録 Japan New Record

## ■スタンディングスタート

・4km 団体

女子エリート 4'34"362 日本（上野みなみ、橋本優弥、中村妃智、鈴木奈央） 2017/04/12 ホンコンチャイナ

## NEWS

### ●加盟団体の事務局住所変更のお知らせ

**青森県自転車競技連盟** mikami-hiroshi@m04.asn.ed.jp

〒030-0951 青森県青森市戸山字安原 7-1 青森県立青森商業高校内 TEL: 017-765-6030 FAX: 017-765-6031

**群馬県自転車競技連盟** gunmacyclingfederation@gmail.com

〒371-0804 群馬県前橋市六供町 1224-4 板鼻様方 TEL: 027-221-4336 FAX: 027-221-4336

**東京都自転車競技連盟** info@tokyo-cf.jp

〒166-0011 東京都杉並区梅里 2-28-13 十時様方 FAX: 03-3318-9048

**神奈川県自転車競技連盟** jimu@kanagawa-cf.com

〒232-0064 神奈川県横浜市南区別所 3-31-12-204 伏見様方 FAX: 045-731-9395

**公益財団法人 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部** hs.cycling.jimu@gmail.com

〒157-0066 東京都世田谷区成城 9-25-1 都立総合工科高等学校内 TEL: 080-2171-0430 FAX: 03-6667-5415

### ●事務局人事異動（平成 29 年 4 月 1 日付）

後藤慶一郎（新任）事務局次長 兼 総務部長

渡邊 修功（帰任）総務部長

山田 克彦（新任）選手強化部スタッフ

佐々木龍也（新任）選手強化部スタッフ

## 連盟の動き（3月中旬～5月中旬）

3月13日	トラック中距離強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム（～25日）
15日	トラック短距離強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム（～4月7日）
16日	平成28年度第6回広報部会	於：東京・西麻布いきいきプラザ 会議室
18日	第2回ナショナルタレントハブ合宿	於：静岡・日本CSC（～20日）
4月3日	トラック中距離合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム（～7日）
20日	ジュニアロード強化合宿	於：青森・八戸市（～24日）
5月3日	ジュニアトラック強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム（～7日）
14日	平成29年度第1回トラック部会	於：宮城・大和町
18日	平成29年度第1回広報部会	於：東京・白金台いきいきプラザ 会議室

### 今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
6月1日～4日	ツール・ド・熊野	RR	和歌山県・新宮市他
6月3日	第56回全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会	RR	埼玉県・加須市／羽生市 利根川河川敷
6月4日	全日本学生選手権 第28回全日本学生個人ロードTT	RR	埼玉県・加須市／羽生市 利根川河川敷
6月10日～11日	Coupe du Japon MTB ISHIKAWA/白山一里野温泉XCO	MTB	石川県・白山市
6月10日～11日	第33回全日本学生選手権個人ロードレース大会	RR	岩手県・紫波町
6月17日～18日	クロスカンントリー・サーキットレース&エリミネーター in 前橋	MTB	群馬県・前橋市
6月24日～25日	妙高杉ノ原 STAGE XCO CJ2	MTB	新潟県・妙高市
6月23日～25日	全日本選手権自転車競技大会-ロードレースTT, ME, WE, U23, PARA	RR	青森県・階上町
6月24日～25日	UCI世界選手権大会-MTB マスターズ	MTB	アンドラ・バルノード
6月24日～25日	UCI世界選手権大会-MTB マラソン	MTB	ドイツ・ジンゲン
7月1日～2日	全日本選手権自転車競技大会-BMX	BMX	静岡県・日本CSC
7月1日～2日	第58回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	TR	静岡県・伊豆ペロドローム
7月7日～9日	ジャパントラックカップ I & II	TR	静岡県・伊豆ペロドローム
7月8日～9日	第4回ニセコクラシック (UGFWS)	RR	北海道
7月15日～16日	全日本学生 TRS 第3戦 (JICF INTERNATIONAL TRACK CUP)	TR	長野県・松本市美鈴湖自転車競技場
7月16日～17日	Coupe du Japon 田沢湖 XCO/DHI	MTB	秋田県・仙北市
7月21日～23日	全日本選手権自転車競技大会-マウンテンバイク	MTB	長野県・富士見パノラマ
7月26日～30日	UCI BMX世界選手権大会	BMX	アメリカ・ロッキヒル
7月27日～29日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	TR	福島県・いわき市平競輪場
7月30日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	RR	福島県・石川町／浅川町

# 第40回全国高等学校選抜自転車競技大会



## 平成28年度全国高等学校選抜自転車競技大会

主催：(公財)日本自転車競技連盟  
共催：熊本市 熊本市教育委員会 山鹿市  
主管：(公財)全国高等学校体育連盟自転車競技

(公財)全国高等学校体育連盟  
山鹿市教育委員会 久留米市 久留米市教育委員会  
専門部 全国高等学校選抜自転車競技大会実行委員会



男子ロードレースのスタート前

平成28年度全国高等学校選抜自転車競技大会が3月25日から29日の5日間、熊本県山鹿市菊鹿町「あんずの丘」を基点とした特設ロードコース(ロード競技)、及び福岡県久留米市久留米競輪場(トラック競技)で開催された。

本年度は昨年4月の熊本地震の影響で、二つの県にまたがった開催となった。開会式翌日の競技初日は、個人ロードレースが行われた。やや寒くはあったが晴天下でのレースとなり、男子77.7km、女子33.3kmで実施された。

男子はレース序盤の2周目から5名の選手が逃げを試みるが、集団との差がなかなか広がらない展開で進み、残り1周で先頭集団が3名、第2集団が28名となる。残り2kmを切ってから山本哲央(葦崎)がアタックをかけ、そのまま逃げ切って優勝。30秒差で2位は依田翔大(甲府工)、3位は地元伊藤旭(九州学院)となった。176名の出走で完走者36名と厳しいレースとなった。

女子は39名の出走。レース序盤から集団走行で進み、ゴール勝負で石上夢乃(横浜創学館)が優勝。2位は地元の中富尚子(千原台)、3位は成海綾香(南大隅)となった。

競技2日目から福岡県久留米市久留米競輪場に場所を移し、トラック競技が開催された。トラック競技初日は女子・男子個人パーシュート、ポイントレース、男子スクラッチ、女子スクラッチの各種目の予選が行われた。

トラック競技2日目は女子2km個人パーシュート、男子3km個人パーシュートの順位決定戦及びポイントレース、女子スクラッチの決勝を行った。女子2km個人パーシュートは池上あかり(祐誠)が2分38秒229で優勝。2位は松井優佳(南大隅)、3位は高橋吹歌(筑波大坂戸)となった。男子3km個人パーシュートは河野翔輝(榛生昇陽)が3分39秒501で優勝。2位は佐藤健(九州学院)、3位は松田祥位(岐阜第一)となった。

男子1kmタイム・トライアルは磯島成介(八戸工)が1分08秒274で優勝。2位は武田亮(昭和一学園)、3位は晝田宗一郎(岡山工)となった。

ポイントレースは小林右京(日出総合)が17点で優勝。2位はゴール着順1位で15点の平安山良希(北中城)、3位は14点の依田翔大(甲府工)となった。

女子スクラッチは、ゴール勝負となり中富尚子(千原台)が優勝。2位は松井優佳(南大隅)、3位は太郎田水桜(東京成徳)となった。

トラック最終日は残りの種目の順位決定戦および決勝が行われた。女子500mタイム・トライアルは藤田まりあ(浦和工)が38秒348で優勝。2位は岩元杏奈(都城工)、3位は増田夕華(岐阜第一)となった。

男子ケイリンは塩島崇一郎(南大隅)が予選から決勝まで安定した競走をして優勝を飾り、2位は田仲駿太(別府商・別府翔青)、3位は川副雷斗(九州学院)となった。女子ケイリンは山口伊吹(鹿町工)が混戦を制して優勝。2位は鈴木樹里(桜丘)、3位は野寺梓(伊豆総合)となった。

男子スクラッチは牽制が続き集団ゴールとなり、岡村郁弥(岡山工)が優勝。2位は宮崎大空(開新)、3位は西原裕太郎(榛生昇陽)となった。

スプリント決勝は予選を大会初の1位で勝ち上がった梶原海斗(祐誠)と、予選2位から勝ち上がった黒瀬浩太郎(崇徳)との対戦となり、梶原が2本先取して優勝した。2位は黒瀬、3位は宇賀神怜真(作新学院)となった。

男子学校対抗総合は、4種目5名の入賞を果たし、23点を獲得した九州学院が総合優勝を飾った。また、女子学校対抗総合は5種目全てで入賞を果たした鹿町工が、29点で総合優勝を飾った。(大会副委員長 井上正継)





男子スクラッチ

男子ケイリン



男子スプリント1位梶原(左)と2位黒瀬

女子スクラッチ

**【競技結果】**

第40回全国高等学校選抜自転車競技大会  
(2017/3/26-29 熊本・山梨/福岡・久留米)

**男子ロードレース**

- 1 山本 哲央 山梨 韮崎 2:04:45.5
- 2 依田 翔大 山梨 甲府工 2:05:15.8
- 3 伊藤 旭 熊本 九州学院 2:05:16.4

**女子ロードレース**

- 1 石上 夢乃 神奈川 横浜創学館 1:02:15.3
- 2 中富 尚子 熊本 千原台 1:02:15.5
- 3 成海 綾香 鹿児島 南大隅 1:02:17.1

**男子スプリント**

- 1 梶原 海斗 福岡 祐誠
- 2 黒瀬浩太郎 広島 崇徳
- 3 宇賀神怜真 栃木 作新学院

**男子1kmタイムトライアル**

- 1 磯島 成介 青森 八戸工 1:08.274
- 2 武田 亮 東京 昭和一学 1:08.398
- 3 晝田宗一郎 岡山 岡山工 1:08.961

**男子3km個人パシュート**

- 1 河野 翔輝 奈良 榛生昇陽 3:39.501
- 2 佐藤 健 熊本 九州学院 3:41.960
- 3 松田 祥位 岐阜 岐阜第一 3:35.911

**男子ケイリン**

- 1 塩島嵩一郎 鹿児島 南大隅
- 2 田仲 駿太 大分 別府商・別府翔青
- 3 川副 雷斗 熊本 九州学院

**男子スクラッチ(8km)**

- 1 岡村 郁弥 岡山 岡山工
- 2 宮崎 大空 熊本 開新
- 3 西原裕太郎 奈良 榛生昇陽

**男子ホムインレース(24km)**

- 1 小林 右京 大分 日出総合 17p
- 2 平安山良希 沖縄 北中城 15p
- 3 依田 翔大 山梨 甲府工 14p

**女子500mタイムトライアル**

- 1 藤田まりあ 埼玉 浦和工 38.348
- 2 岩元 杏奈 宮崎 都城工 38.841
- 3 増田 夕華 岐阜 岐阜第一 38.907

**女子2km個人パシュート**

- 1 池上あかり 福岡 祐誠 2:38.229
- 2 松井 優佳 鹿児島 南大隅 2:44.735
- 3 高橋 吹歌 埼玉 筑大坂戸 2:43.607

**女子ケイリン**

- 1 山口 伊吹 長崎 鹿町工
- 2 鈴木 樹里 愛知 桜丘
- 3 野寺 梓 静岡 伊豆総合

**女子スクラッチ(6km)**

- 1 中富 尚子 熊本 千原台
- 2 松井 優佳 鹿児島 南大隅
- 3 太郎田水桜 東京 東京成徳

**男子総合成績**

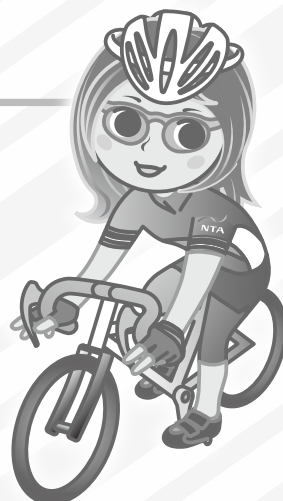
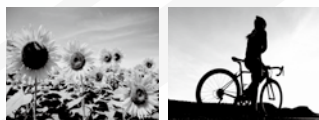
- 1 九州学院 23p
- 2 昭和一学園 21p
- 3 榛生昇陽 18p

**女子総合成績**

- 1 鹿町工 29p
- 2 南大隅 21p
- 3 祐 誠 18p

あなたのアンチストレスに、  
イチバンでありたい。

スポーツ  
×キレイ  
×旅



日本旅行  
NIPPON TRAVEL AGENCY

たびーら  
全ての女子を応援する  
日本旅行のマスコット。  
イベントにも  
駆けつけます。

たびーら 🔍 検索

Facebook たびーら

## 第1回ツール・ド・とちぎ ベンジャミン・ヒルが初代チャンピオンに!

第1回を迎えるツール・ド・とちぎの第1ステージは春休みという事もあり、沿道にはたくさんの観客が観戦に訪れ、子ども連れの観客の方も目立った。

パレード走行からアクチュアルスタートとなった瞬間に集団のスピードが上がり、杉並木の日光例幣使街道を通過。各チームアタック合戦となるが決まらず、そのまま41km地点の1つ目のKOMに向かう。

カテゴリー3級のこのKOMではサルバドール・グアルディオラ・トーラ(右京)が先頭通過。KOMを越えた集団は下りに一列棒状となって入り、前方に14人の小集団が形成され、これが逃げ集団となる。KOMを4位で通過したブリッツェンの飯野智行はメカトラで先頭を離脱。この逃げがメイン集団に2分54秒のタイム差をつけ、タイム差が変わらぬままレースが進んでいく。

逃げに選手を送り込めていないチームは、何とか前に選手を送り込もうとするが、集団をうまくコントロールするチームがなく、この逃げが決定的となってしまふ。

83.6km地点、2つ目のKOMは12%の激坂。セメント工場脇を通り、KOMへ向かってアタックが掛かる。ここでショーン・ホワイトフィールド(オリヴァーズ)が脱落し、逃げは13人。この時点でメイン集団と2分差となり、残り30kmでほぼ逃げ切り勝利が決定。ラスト8kmに標高差50m

の地点があり、キナンのトマ・ルバがペースを上げ抜け出しを凶るが捉まる。13人のままラスト7kmで西園良太(アンカー)がアタックし、およそ2km逃げたが吸収、元の13人でフィッシュに向かう。

フィッシュを目前に、先頭集団では牽制の空気が漂うが、集団の右側からスッと抜け出したグアルディオラが上がっていくのを、他の選手は見合ってしまった。結果、サルバドール・グアルディオラ・トーラが2位以下に4秒の差をつけ優勝。今年、宇都宮ブリッツェンに入団した岡篤志が2位に入り、U23クラス1位を獲得した。

第2ステージは茂木町から那須町までの102km。この日も真冬のような寒さの中、レースはスタートした。アクチュアルスタート直後、まず飛び出したのはキナンの山本元喜。スタートから5kmほど小さなアップダウンが連続する中キナンを中心にアタックが繰り返され、それにアンカーとブリッツェンが反応する。

集団は一列棒状のまま平坦箇所に入ると、更なるキナンのアタックによる分断が発生し、烏山大橋を40人ほどの先頭集団で通過。レース開始から40分が経過する頃、先頭集団から更に13人が抜け出し、20秒後方に残りの選手、その40秒後ろにメイン集団が続く展開に。レース開始1時間、千切れた選手たちがプロトンに吸収され、集団は2つとなりタイム差は2分に開く。

昨日のリーダーであるサルバドール・グアルディオラ・トーラは、後方のメイン集団に取り残され、チームメイトを先頭に送り込むことも出来なかった。最初のスプリントポイントを1位通過したベンジャミン・ヒル(アタッキ)が、KOMを2位で通過。しかしその直後のトンネルを越えたヘアピンカーブでコースアウトしてしまう。誰もがヒルの脱落を予想したが、10%程度の勾配を下りきる頃には先頭集団に復帰した。そのまま先頭集団で走るヒルは、2つ目のスプリントポイントでマル＝エルデネ・バトムフ(トレンガヌ)とのスプリントを競り勝つ。

メイン集団はレースの序盤こそ右京が牽いていたが、後半はアンカーやオリヴァーズが牽引。メイン集団の速度は50km/hまで上がり、1分30秒までタイム差を縮めるが、先頭集団のマルコス・ガルシア(キナン)が登りでアタックし口火を切ると、先頭集団のペースが上がり、そのままりんどう大橋を進む。

残り1kmで山本元喜がアタックするが、差がつかないままゴールスプリント勝負に持ち込まれ、ベンジャミン・ヒルとジャイ・クロフォード(キナン)の右側から、2016年アジア選U23個人TTチャンピオンのバトムフが力強いスプリントで勝負を制した。

惜しくもステージ優勝を逃したヒルだが、個人総合時間賞のグリーンジャージを獲得した。

矢板市役所前をスタートする第3ス



テージは、第1回ツール・ド・とちぎが始まって、初めての晴天となった。今日のコースは、開始から14kmに設定されたKOMを目指して、まず登っていく設定。その登りに到達するまで、各チームの逃げの打ち合いとなり、なかなか決まらない。

KOMは、昨日個人総合を奪取したベンジャミン・ヒルが1位通過。1日目に総合を獲ったサバドル・グアルディオラ・トーラが2位。チームメイトのエゴイツ・フェルナンデス・アヤルサグエナが3位。昨日のステージ勝者であるマラル＝エルデネ・バトムフが4位に入り実力者が順当にポイントを重ねた。

KOM後の下りで集団から数名が抜け出す。すぐに後続に吸収。下りが終わり平坦区間に入ると、また逃げの打ち合いが始まり、集団は落ち着かないままスプリントポイントを目指す。ここで逃げ集団と後続集団のタイム差は25秒。

スプリントポイントは、目に見える争いがないうまま、鈴木讓（ブリッツェン）、ジャイ・クロフォード、ホセ・ヴィセンテ・トリピオ（マトリックス）の順で続いた。スプリントポイントを過ぎると中切れした後続集団が追いつくが、そこから安原大貴（MTR）がアタック。しかし間もなく吸収されカウンター・アタックで鈴木龍と初山翔（アンカー）が前に出るが、この逃げも3～4分の後に集団に飲まれてしまう。

落ち着きを取り戻したように見えた集団は、リーダー・チームであるアタキが牽引を始めるが、補給ポイントに

差し掛かる前にジュリアン・アマドリ（インタープロ）がアタックし、これをアンカーがチェック。また一塊に戻り45km地点を過ぎる。

動きがあったのは46km地点。上り坂で一瞬踏み込み、抜け出したのは石橋学（アンカー）。単独アタックで、総合争いにも影響がないと見なされたのか、集団はこの逃げを容認。石橋は得意のタイムトライアルのように順調なペースを保ったままじわじわとタイム差を広げ、最大2分をつけラスト5kmまで53kmにわたり逃げ続けた。

石橋を吸収したプロトンから山本元喜が逃げを試みるが、すぐに戻りそのままフィニッシュ地点に向かう。しかし、フィニッシュ500m手前のコーナーで、先頭を走る数名の選手がコースを間違い、それによる落車も発生。栃木県選抜の石原祐希が集団の先頭、そのすぐ後ろにグリーンジャージのベンジャミン・ヒルがつけ、最後の清原中央公園前のストレートへ。

ゴールスプリントは、右京の畑中勇介、エゴイツ・フェルナンデス、総合リーダーのヒルが三つ巴でフィニッシュラインを通過。写真判定の結果、ほんの僅かな差で今年チーム右京に加入したばかりのエゴイツ・フェルナンデスがステージを勝ち取り、チームメイトの畑中とワン・ツー・フィニッシュとなった。

3位でフィニッシュしたベンジャミン・ヒルが、第1回ツール・ド・とちぎの個人総合優勝に輝き、ポイント賞と山岳賞も獲得。新人賞は、宇都宮ブリッツェンの岡篤志が守り切り、地

元チームの意地を見せつけた。

（ツール・ド・とちぎ実行委員会）

## 【競技結果】

### 第1回ツール・ド・とちぎ (2017/3/31-4/2 栃木)

#### 個人総合時間賞

1	HILL Benjamin	ATG	6:59:02
2	CRAWFORD Jai	KIN	6:59:16
3	鈴木 讓	BLZ	6:59:21
4	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente	MTR	6:59:24
5	GUARDIOLA TORA Salvador	UKO	7:00:16
6	岡 篤志	BLZ	7:00:22

#### ポイント賞

1	HILL Benjamin	ATG	67p
---	---------------	-----	-----

#### 山岳賞

1	HILL Benjamin	ATG	13p
---	---------------	-----	-----

#### チーム総合成績

1	キンサイクリングチーム	KIN	21:01:15
2	マトリックス パワータグ	MTR	21:02:10
3	宇都宮ブリッツェン	BLZ	21:02:12

#### 第1ステージ (106.1km)

1	GUARDIOLA TORA Salvador	UKO	2:16:04
2	岡 篤志	BLZ	2:16:08
3	HILL Benjamin	ATG	2:16:08
4	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente	MTR	2:16:08
5	畑中 勇介	UKO	2:16:08
6	FERNANDEZ AYARZAGUENA Egoitz	UKO	2:16:08

#### 第2ステージ (99.3km)

1	BATMUNKH Maral-Erdene	TSG	2:23:43
2	HILL Benjamin	ATG	2:23:43
3	CRAWFORD Jai	KIN	2:23:43
4	FERNANDEZ CASASOLA Airan	MTR	2:23:43
5	大久保 陣	BGT	2:23:43
6	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente	MTR	2:23:43

#### 第3ステージ (99.6km)

1	FERNANDEZ AYARZAGUENA Egoitz	UKO	2:19:34
2	畑中 勇介	UKO	2:19:34
3	HILL Benjamin	ATG	2:19:34
4	徳田 匠	KAN	2:19:34
5	鈴木 龍	BGT	2:19:34
6	MAT AMIN Mohd Shahrul	TSG	2:19:34





KEIRIN

00

この大会は競輪の補助金を受けて実施されました

# 第6回 全日本トライアル 選手権大会

寺井、西窪が連覇!



4月29日・30日、長野県佐久平のミレニアムパークにおいて、第6回全日本トライアル選手権大会が開催され、男子エリート20は寺井が6連覇、男子エリート26は西窪が昨年に続き優勝した。



男子エリート20、1位の寺井



男子エリート26、1位の西窪



マスターズ1位の後藤



カデット1位の尾又



プッシュン1位の山下



ユースガール1位の市川



ミニメ1位の小椋



女子エリート1位の後藤



ベンジャミン1位の横田



ガール1位の横田

**【競技結果】**

第6回全日本トライアル選手権大会  
(2017/4/29-30 長野・佐久)

**男子E1-20**

- 1 寺井 一希 埼玉 チームハリケン 22p
- 2 齊藤 夏樹 東京 GOLD RUSH 45p
- 3 甘利 大斗 長野 トライアルチーム輪道 45p

**男子E1-26**

- 1 西窪 友海 東京 OZONYS 30p
- 2 小松 龍一 神奈川 HWC 50p
- 3 山田 慎理 兵庫 無所属 50p

**女子E1-ト**

- 1 後藤 琴恵 東京 GT Bicycle 46p
- 2 坂本 円加 山口 team N 73p

**男子ジュニア20**

- 1 土屋 凌我 長野 無所属 26p
- 2 高橋 靖矢 埼玉 チームハリケン 44p
- 3 安部 健太 埼玉 無所属 49p

**マスターズ**

- 1 後藤 晴信 東京 GT Bicycle 10p
- 2 寺曾 秀明 広島 Team TERASO 11p
- 3 大塚 達也 静岡 チームY工房 13p

**カデット**

- 1 尾又 太一 東京 チームハリケン 8p
- 2 豊澤 剛 埼玉 チームハリケン 43p
- 3 増田 誠政 静岡 Myroad Nakano 44p

**ミニメ**

- 1 小椋 陽 岡山 RED ZONE 8p
- 2 小椋 紘 岡山 RED ZONE 12p
- 3 高橋 寛牙 神奈川 無所属 45p

**ベンジャミン**

- 1 横田宏太郎 兵庫 ワンダー-イナジ- 11p
- 2 濱野 伊吹 岡山 RED ZONE 35p
- 3 庄司 悠矢 岡山 RED ZONE 75p

**プッシュン**

- 1 山下 虎威 熊本 ikkei Bike W. 27p
- 2 森 蒼汰郎 静岡 Myroad Nakano 57p

**ガール**

- 1 横田 華奈 兵庫 ワンダー-イナジ- 11p
- 2 平野 心結 京都 ワンダー-イナジ- 14p
- 3 寺曾 芹奈 広島 Team TERASO 23p

**ユースガール**

- 1 市川 琉那 栃木 北関東ハイクトライアル 56p

### BIWASE CUP 2017 (ベトナム) 日本代表選手団

大会名 BIWASE CUP 2017  
大会日程 2017年3月8日～3月16日  
開催場所 ベトナム・ホーチミン  
代表選手団

監督 柿木 孝之 (ロードコーチ)  
メカニック 中村 仁 (強化支援スタッフ)  
マッサー 穴田 悠吾 (強化支援スタッフ)  
選手 梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)  
榎木 祥子 (東京・AVENTURA  
AIKOH VICTORIA RACING)  
下山美寿々 (大阪・大阪教育大学附属天王寺高校)  
福田 咲絵 (神奈川・慶応義塾大学)  
唐見実世子 (茨城・弱虫ペダルサイクリングチーム)

### Women's Tour of Thailand 2017 日本代表選手団

大会名 Women's Tour of Thailand 2017  
大会日程 2017年4月8日～4月10日  
派遣日程 2017年4月6日～4月12日  
開催場所 タイ王国・チェンマイ  
代表選手団

監督 柿木 孝之 (ロードコーチ)  
メカニック 中村 仁 (強化支援スタッフ)  
マッサー 穴田 悠吾 (強化支援スタッフ)  
選手 金子 広美 (三重・イナメ信濃山形)  
吉川 美穂 (和歌山・Bizkaia-Durango  
/ Live GARDEN Bici Stelle)  
榎木 祥子 (東京・AVENTURA AIKOH  
VICTORIA RACING)  
合田祐美子 (岡山・CORRIDORE BIORACER)  
福田 咲絵 (神奈川・慶応義塾大学)

### UCI BMX スーパークロス・ワールドカップ 第1～4戦 日本代表選手団

大会名 UCI BMX スーパークロス・ワールドカップ  
第1～4戦

派遣日程 2017年4月27日～5月16日  
<第1・2戦>

大会日程 2017年5月6日～5月7日

開催場所 オランダ・バペンダル

<第3・4戦>

大会日程 2017年5月12日～5月14日

開催場所 ベルギー・フースデン＝ソルデル

代表選手団

監督 三瓶 将廣 (BMX強化コーチ) ※1-2戦  
コーチ 古幡 陵介 (BMX強化コーチ) ※1-4戦  
メカニック 光武 正勝 (強化支援スタッフ) ※3-4戦  
マッサー 中山 真臣 (強化支援スタッフ) ※3-4戦  
選手  
男子エリート 長迫 吉拓 (岡山・MXインターナショナル)  
吉村 樹希敢 (大阪)  
吉井 康平 (東京・MXインターナショナル)  
長谷川 湧斗 (茨城・流通経済大学)  
山口 大地 (新潟・早稲田大学)  
男子ジュニア 池上 泰地 (大阪・KUWAHARA BIKE WORKS)  
女子ジュニア 畠山 紗英 (神奈川・白鷗女子高校)  
永禮 美瑠 (三重 西陵高校)

### ツアー・オブ・ジャパン 2017 日本代表選手団

大会名 ツアー・オブ・ジャパン 2017

大会期間 2017年5月21日～28日

派遣期間 2017年5月20日～28日

開催場所 堺～東京 (全8ステージ)

代表選手団

監督 浅田 颯 (ロードコーチ)  
メカニック 高橋 優平 (強化支援スタッフ)  
マッサー 森井 章仁 (強化支援スタッフ)  
選手 吉岡 直哉 (京都・那須ブラーゼン)  
山本 大喜 (奈良・鹿屋体育大学)  
新城 雄大 (沖縄・EQADS)  
孫崎 大樹 (京都・早稲田大学)  
黒枝 咲哉 (大分・鹿屋体育大学)  
草場 啓吾 (京都・日本大学)



DESCENTE



Design for Sports

株式会社デサント

<http://www.descente.co.jp/>



# 第11回 明治神宮外苑 大学クリテリウム

アジア選 優勝の岡本が勝利!



男子大学生グループ1

3月12日明治神宮外苑で、第11回を数える明治神宮外苑クリテリウムが開催された。今回はUCIカレンダー登録のパラサイクリングタンデムロードレースも併催され、マレーシアやニュージーランドの選手も参加した中、マレーシアのMOHD ALI/SUHAIMY組が優勝した。

大学生グループ1のクラスでは、直前のアジア選手権U23ロードレースを制した岡本が、昨年大会に続いて見事優勝。大学対抗も日本大学が1ポイント差で1位を獲得した。

また、女子は鹿屋の中井が優勝。マスターズは小畑が3連勝を果たした。



パラサイクリング1位の MOHD ALI/SUHAIMY

## 【競技結果】

第11回明治神宮外苑大学クリテリウム  
(2017/3/12 東京・明治神宮外苑)

### 男子大学生グループ1 (30km)

1	岡本 隼	日本大学	42:26
2	黒枝 咲哉	鹿屋体育大学	42:27
3	原井 博斗	中央大学	42:27
4	岡部 祐太	日本体育大学	42:27
5	孫崎 大樹	早稲田大学	42:27
6	間瀬 勇毅	京都産業大学	42:27

### 大学対抗結果

1	日本大学	9p
2	中央大学	10p
3	日本体育大学	13p

### 2016全日本学生ロードレースカップ最終ランキング

1	野本 空	明治大学	204p
2	石原 悠希	順天堂大学	161p
3	岡本 隼	日本大学	142p

### 女子クリテリウム (12km)

1	中井 彩子	鹿屋体育大学	19:11
2	岡本 二葉	日本体育大学	19:19
3	高田 奈生	鹿屋体育大学	19:31
4	西村 知乃	Vitesse-Feminin	19:32
5	伊藤 真生	日本体育大学	19:32
6	伊藤 杏菜	Live GARDEN	19:32

### マスターズクリテリウム (12km)

1	小畑 郁	なるしまフレンド	17:38
2	山崎 潤	Team Logisty Jack	17:39
3	高岡 亮寛	Roppongi Express	17:39
4	善波 昭	Team Logisty Jack	17:39
5	佐藤 智也	Roppongi Express	17:40
6	山口 史明	湾岸サイクリング ユナイテッド	17:40

### パラサイクリングロードレース (24 km)

1	MOHD ALI M. K. N./ SUHAIMY M. N. S.	MAS MAS	37:40
2	大城 竜之/高橋 仁	チェアマン JPN	37:59
3	ROMJI M. A. N./ MUHAMED SUFIAN M. H.	MAS MAS	39:39



# 第42回 チャレンジサイクルロードレース大会



CHALLENGE  
CYCLE ROAD RACE



A-E, 1位の横塚



A-Yの先頭集団



A-F, 1位の渡部(右)と2位の大塚



A-M, 1位の半澤



A-J2, 1位の香山



A-J1, 1位の松村





A-U の先頭集団

**【競技結果】**

**第 42 回チャレンジサイクルロードレース大会  
(2017/4/8-9 静岡・日本 CSC)**

**A-E (69km)**

- 1 横塚 浩平 東京 LEOMO 1:58:19.93
- 2 早川 朋宏 愛知 愛三工業 1:58:26.95
- 3 岡 篤志 茨城 プリツェン 1:58:30.77
- 4 秋丸 湧哉 大阪 シノ 1:58:40.98
- 5 西村 大輝 東京 シノ 1:58:54.34
- 6 入部正太郎 奈良 シノ 2:01:19.00

**A-M (34km)**

- 1 半澤 雄高 東京 LinkT 1:00:54.90
- 2 加納 篤 栃木 fukuoka 1:01:22.98
- 3 山本 裕昭 静岡 BONDS 1:01:35.32
- 4 窪田 博英 京都 ハヶ岳 1:02:16.60
- 5 岩波 信二 山梨 ハヶ岳 1:02:26.60
- 6 早瀬憲太郎 神奈川 ろう自転車 1:02:29.18

**A-U (59km)**

- 1 尾形 尚彦 宮城 中央大学 1:43:47.69
- 2 中井 唯晶 滋賀 京都産大 1:43:48.08
- 3 武山 晃輔 山梨 日本大学 1:43:57.73
- 4 野本 空 愛媛 明治大学 1:43:59.15
- 5 岡部 祐太 広島 日本体大 1:44:00.33
- 6 和田 樹 岐阜 朝日大学 1:44:00.74

**A-J1 (39km)**

- 1 松村 恭輔 埼玉 栄北高校 1:06:39.54
- 2 依田 翔大 山梨 甲府工高 1:06:39.78
- 3 篠田 幸希 群馬 日本体大 1:06:40.10
- 4 今崎 勇希 埼玉 栄北高校 1:06:41.41
- 5 山岸 大地 神奈川 保土ヶ谷 1:06:43.04
- 6 津田 悠太 静岡 伊豆総高 1:06:43.73

**A-J2 (39km)**

- 1 香山 飛龍 神奈川 横浜高校 1:07:33.54
- 2 中村 龍吉 福島 学法石川 1:07:34.94
- 3 馬越 裕之 奈良 榛生昇陽 1:07:35.88
- 4 福田 圭晃 神奈川 横浜高校 1:07:36.19
- 5 加藤 拓斗 宮城 東北高校 1:07:36.54
- 6 山本 哲央 山梨 韮崎高校 1:07:37.42

**A-Y (34km)**

- 1 津田 悠義 愛知 EQADS 59:45.11
- 2 寺田 吉騎 静岡 VIVACE 1:00:49.87
- 3 湯浅 博貴 埼玉 栄北高校 1:01:53.48
- 4 長田 華山 栃木 プラブリック 1:02:22.07
- 5 山之内壮真 神奈川 横浜高校 1:02:25.97
- 6 海野 晋作 東京 VentosF 1:02:26.99

**A-F (24km)**

- 1 渡部 春雅 神奈川 港北 Liv 48:54.88
- 2 大堀 博美 神奈川 Yokosuka 48:56.10
- 3 酒井 美有 愛知 51:03.08
- 4 石上 夢乃 神奈川 横浜創学 51:29.42
- 5 平尾 愛菜 岐阜 岐阜一高 52:03.26
- 6 谷 伊央里 群馬 日本体大 52:41.66

**A-FJ (24km)**

- 1 渡部 春雅 神奈川 港北 Liv 48:54.88
- 2 酒井 美有 愛知 51:03.08
- 3 石上 夢乃 神奈川 横浜創学 51:29.42

**B-C1 (2km)**

- 1 三上 将嗣 チーム隼アスリチューン 5:07.00
- 2 紺野 祐玄
- 3 馬島 史弥 Cycle DNA
- 4 皆木 海音
- 5 鈴木 名人 ボンジャンスキップ
- 6 村田 英彰 TEAM 一番坂

**B-C2 (3km)**

- 1 安川 尚吾 CAMPIONE 6:56.00
- 2 水谷 悠平
- 3 若林 蔵月 BIKE TOWN
- 4 村田 勝昭 TEAM 一番坂
- 5 飯塚 嵐 RinRinRacing
- 6 原田 拓朋 ミニ Ready Go Japan

**B-C3 (4km)**

- 1 森本真渡斗 愛媛車連ジュニア C 7:51.82
- 2 木綿 峻介 7:53.66
- 3 酒井 脩平 湘南ハルマレサイクル 8:12.82
- 4 新沼 杏菜 ハイニヒルス 8:15.53
- 5 長島 慧明 FM730 8:18.82
- 6 戸塚直太郎 8:19.80

**B-1 (14km)**

- 1 篠原 輝利 ボンジャンス 26:33.03
- 2 大谷 友哉 26:33.50
- 3 辻本 青矢 SPADE ACE 27:23.47
- 4 堀江 一葉 Flecha (フレチャ) 27:24.24
- 5 秋田 圭佑 Flecha (フレチャ) 28:16.11
- 6 楯山 結己 28:28.76

**B-2 (24km)**

- 1 土田 裕希 朝明高校 43:08.28
- 2 平井 光介 YOU CAN 43:21.41
- 3 鳥倉 必勝 チームウォークライト 44:25.26
- 4 武井 稜哉 YOU CAN 45:10.67

- 5 金子 峻大 正則高校 45:15.58
- 6 中川 由人 45:49.80

**B-3 (24km)**

- 1 武井 裕 アーティファクトレーシング 43:41.63
- 2 岸 亮太 INOUE RC 44:02.45
- 3 高橋 正直 TEAM 光 44:54.91
- 4 近藤 弘樹 Go!temba CT 45:01.49
- 5 吉岡 拓哉 伊ノ木信濃山形 47:23.16
- 6 横山 裕司 筑波大学 47:34.16

**B-4 (24km)**

- 1 松木 匡宏 MIVRO 44:49.29
- 2 福田 健太 INOUE RC 45:01.71
- 3 大坪 優介 NSR 45:31.20
- 4 鷲野 向一 彩北ツツラセ 46:08.81
- 5 水野 広大 K & K 46:10.73
- 6 藤巻 真一 チーム・オーベスト 46:12.54

**B-5 (24km)**

- 1 井上 善裕 INOUE RC 44:40.76
- 2 齋藤 義明 多摩ホータ 44:43.76
- 3 戸塚 裕一 45:12.46
- 4 菅野 文雄 45:52.77
- 5 近江 邦夫 Dreamer スターズ 46:13.02
- 6 大塚 将悟 Team CUORE 46:15.75

**B-6 (14km)**

- 1 奈良 正一 天狗党 26:01.46
- 2 小野 忠 ハイニヒルス '90 26:08.26
- 3 辻 博人 多摩ホータ 26:29.56
- 4 江越 和也 Team Vapor 27:12.78
- 5 曾我 修次 27:41.70
- 6 吉池 司 Racing Cube 28:23.31

**B-7 (14km)**

- 1 横山 和夫 チーム・オーベスト 27:32.19
- 2 細山 正一 ウォーレーシング C 28:51.33
- 3 澤田 龍之 SPADE ACE 29:01.96
- 4 北川 悦孝 静岡サイクル RT 29:04.24
- 5 薬師寺良久 30:06.68
- 6 浦西 康次 TEAM 光 30:25.55

**B-8 (14km)**

- 1 石上 琴乃 30:15.03
- 2 山口 真未 cherry japan 32:25.30
- 3 永野日和鈴 パールイズミラハ 32:49.84
- 4 山本真紀恵 30・ミヤザワ 33:02.68
- 5 船橋 星来 パールイズミラハ 33:26.36
- 6 金田 舞夏 伊豆 CSC 35:00.02





KEIRIN   
この大会は競輪の補助金を  
受けて派遣されました

世界選手権トラック、女子オムニアム 11 位の梶原

 **2017 TRACK CYCLING WORLD CHAMPIONSHIPS**  HONG-KONG CHINA  
PRESENTED BY  TISSOT

< JCF オフィシャル・スポンサー >

 SUBARU  AEON  Kabuto  JA共済  この道の上に NIPPO  
 PEARL IZUMI  東港金属  日本旅行  DESCENTE


< オフィシャル・サプライヤー >

 WAVE ONE  Champion System  
 JAL  Vittoria  
 JAPAN AIRLINES  
 COCOA  伊藤超短波



シクリスムエコー No.224 2017年4-5月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟  
 発行人/橋本 聖子  
 編集人/坂井田 米治  
 編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局  
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F  
 TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

KEIRIN  この資料および  の表示がある事業は、JKA から競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。  
 © (公財) 日本自転車競技連盟 2017 本紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。  
 ※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌への寄稿またはご意見、ご感想等を編集事務局までお寄せください。